AQUOS オーディオ

取扱説明書

1ビットシアターラックシステム

形　名

エイ　エヌ　　エイ　シー エックス

AN-ACX2

ΔΣ 1-BIT TECHNOLOGY

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に、「安全上のご注意」（4～8ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と、保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

もくじ

はじめに ……… 初めて使うときは必ずお読みください。

準備・接続 ……… 操作を始める前に必要な内容です。

音を楽しむ ……… 基本的な再生操作と音の調整です。

こんなときは ……… 本機を使用していて困ったときに調べていただくページです。

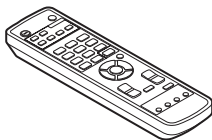
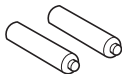
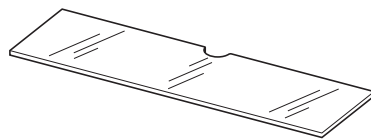
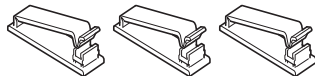
情報ページ ……… エラーメッセージや仕様などの情報のページです。

本書で使われているマークについて

ご注意：正しくお使いいただくためのご注意です。

お知らせ：もう少し詳しい説明や、機能の制限事項です。

こんなときは ▶▶▶

故障かな？と思ったら ☞ 40〜41ページ

よくあるお問い合わせ ☞ 42〜43ページ

お手入れをするときは ☞ 47ページ

付属品

付属品をご確認ください。

リモコン×1

使いかた→13ページ

単3乾電池×2
（リモコン用）

使いかた→20ページ

天板ガラス×1

使いかた→14ページ

キャスター受皿×4
（前部のみ）

使いかた→15ページ

光デジタル音声ケーブル×1
（約1.5m）

使いかた→18～19ページ

HDMIケーブル×1
（約1.5m）

使いかた→18～19ページ

テレビ転倒防止用部品

固定用ネジ×2　ワッシャー×2

使いかた→16ページ

ケーブルクランプ×3

使いかた→20ページ

取扱説明書（本書）×1 ※
かんたん!!ガイド×1 ※
保証書×1

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

天板ガラスやキャスター受皿などは、取り付けが必要です。

取り付けかた→14～15ページ

商標などについて

HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、ダブル D 記号、AAC ロゴ、Audistry およびサウンド・シェル・ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

“DTS”、“DTS Digital Surround” は、DTS, Inc. の登録商標です。

AAC は正式名称を MPEG-2 Advanced Audio Coding といい、MPEG-2 仕様の一部として標準化された音声圧縮技術です。
以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

安全上のご注意

ご使用前に**「安全上のご注意」**を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味
（図記号の一例です）

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

100ボルト
以外禁止

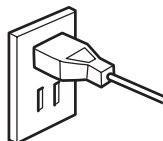
火災・感電の原因となります。

国外では使用できません

禁止

この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

電源プラグは確実に差し込む

確実に
差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

タコ足配線をしない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を載せたり、この製品の下敷きにしない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたときは、販売店に交換をご依頼ください。

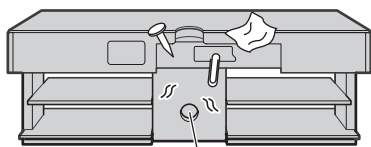
雷が鳴りだしたら、製品に触れない

接触禁止

感電の原因となります。

⚠ 警告

開口部(バスレフダクトなど)から金属類や燃えやすい物などを入れない

禁止

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

風呂やシャワー室では使用しない

風呂、シャワー室での使用禁止

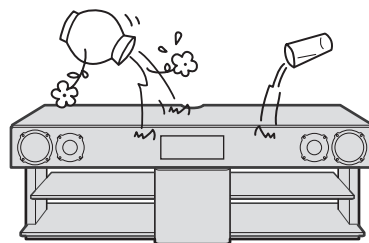
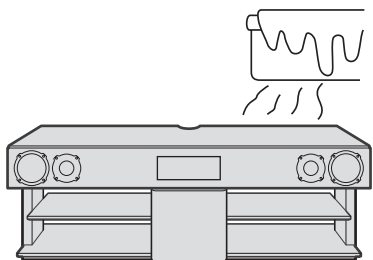
火災・感電の原因となります。

キャビネットを開けたり、改造しない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

本機の上に花びんなど、水の入った容器を置かない

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは、電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。

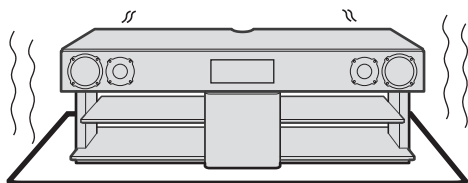
煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

⚠ 注意

不安定な場所に置かない

禁止

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

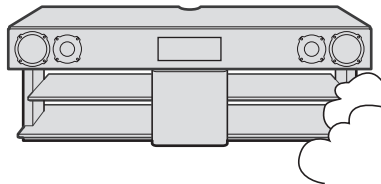
冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

禁止

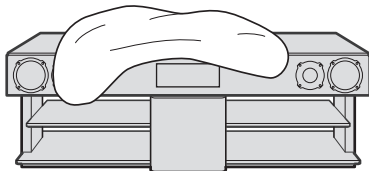
露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

⚠ 注意

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるようなところに置かない

禁止

調理器具や加湿器などのそばに置くと、火災・事故の原因となることがあります。

風通しの悪いところで使用しない また、じゅうたんや布団などをかけない

禁止

空冷ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

製品の上に乗らない

禁止

踏み台や腰かけのかわりに使わないでください。
倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特にお子様やペットにはご注意ください。

電源コードを熱器具に近づけない

禁止

電源コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

本機は非常に重いので、持ち運びは必ず2人以上で行ってください

指示

腰を痛めたり、けがや故障の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

禁止

火災・事故の原因となることがあります。

大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください

音量を下げる

そのまま使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
また、電源を切る前には、アンプの音量を必ず最小にしてください。
電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときや長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

感電やけがの原因となることがあります。

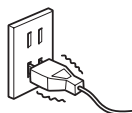
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

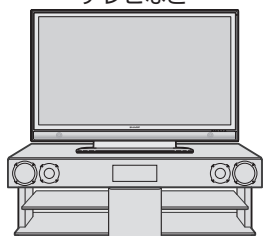
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

電源プラグはゆるみのあるコンセントに接続しない

禁止

火災・感電の原因となることがあります。

他の機器を接続するときは、指定のケーブルをお使いください

指定のケーブルを使用

接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよくご覧のうえ、説明に従って接続してください。
また、付属のケーブルや指定以外のケーブルを使用すると、故障の原因となります。

移動するときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続ケーブル、転倒防止具をはずし、テレビやDVDプレーヤーなど設置している機器を降ろしたことを確認のうえ、行ってください

電源プラグを抜く

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
また、落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

据えつけたあと、不意の地震や衝撃等により、この製品の上に載せたテレビなどが倒れてけがをするおそれがあります。テレビなどの転倒防止策を実施ください

転倒防止

ご使用上の注意

■ 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 本機は、5℃～35℃の場所でお使いください。

■ 使用中は、内部から発生する熱により、本機背面のアンプ部が熱くなります。
長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。

■ パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器や本機に雑音が入ることがあります。
そのときは、それらの機器の電源を切るか、本機との距離をできるだけ離してください。

■ 本機の近くで携帯電話を使用すると、本機が誤作動することがあります。また、携帯電話や本機に雑音が入ることがあります。

安全上のご注意(つづき)

リモコンの乾電池についての安全上のご注意
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

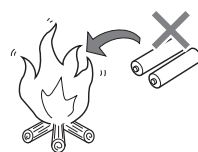
⚠ 注意

乾電池は幼児の手の届く所に置かない

禁止

乾電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。
飲み込んだおそれがあるときは、ただちに医師と相談してください。

乾電池は火や水の中に投入したり加熱・分解・改造・ショートしない
また、乾電池は充電しない

禁止

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池の液がもれたときは素手で触らない

禁止

- 乾電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

指定以外の乾電池を使わない
新しい乾電池と古い乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

禁止

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を使いきったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

指示

乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

表示どおりに入れる

間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を水に濡らさない
ハンダ付けしない
金属小物(かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等)といっしょにポケットやかばんなどに入れない

禁止

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または裏表紙に記載のお客様相談センターまでご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

本機の特長

ファミリンク機能

・HDMI CEC (Consumer Electronics Control)対応の当社製アクオスやデジタルハイビジョンレコーダー、ブルーレイディスクプレーヤーなどの機器と接続することで、本機が連携し動作する機能です。
アクオスのリモコン(または、デジタルハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコン)を使って、アクオスから本機の電源「入/切」や音量調整、消音、音声切換などを行うことができます。
・デジタル放送の番組情報にあわせてサウンドモードを自動選択し、サラウンド音声をかんたんに楽しめます。

ファミリンクに対応している当社製製品(2007年7月現在)

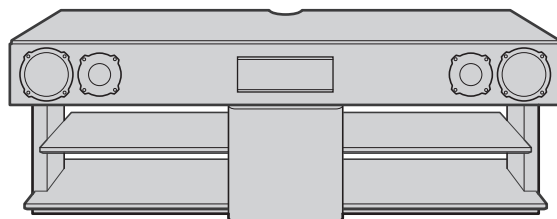
アクオス:
LC-52GX3W、LC-52GX4W、LC-46GX3W、LC-46GX4W、LC-42GX3W、LC-42GX4W、LC-37GX3W、LC-37GX4W、LC-32GH3、LC-32GH4、LC-26GH3、LC-26GH4

LC-65RX1W、LC-57RX1W、LC-52RX1W、LC-52GX1W、LC-52GX2W、LC-46RX1W、LC-46GX1W、LC-46GX2W、LC-42RX1W、LC-42GX1W、LC-42GX2W、LC-37GS10、LC-37GS20、LC-37GX1W、LC-37GX2W、LC-37GH1、LC-37GH2、LC-32GS10、LC-32GS20、LC-32GH1、LC-32GH2、LC-32DS1、LC-32D10、LC-26D10、LC-20D10

デジタルハイビジョンレコーダー:
DV-ACW80、DV-ACW75、DV-ACW72、DV-ACW60、DV-ACW55、DV-ACW52、DV-ACW38、DV-AC75、DV-AC72、DV-AC55、DV-AC52、DV-AC34、DV-AC32、DV-ACV32

ブルーレイディスクプレーヤー:
BD-HP1

広いリスニングエリアを実現した高音質ワイドレンジウーハー&ソフトドームツィーター

・広い音の放射角を持った10cmワイドレンジウーハーと2.5cmソフトドームツィーターを採用し、アクオスの大画面/高画質映像と共に家族で楽しめる広いリスニングエリアを実現しました。
・専用ユニットとして開発した10cmワイドレンジウーハーは、強力な磁気回路と軽量設計の振動板を備え、1ビットデジタルの持つ音の立ち上がりやスピード、滑らかさを活かした解像度の高いサウンドが楽しめます。

臨場感あふれるサラウンド空間を実現

ドルビーバーチャルスピーカー

・2つのスピーカーとサブウーハー(2.1ch)だけで5.1chのような立体感のあるサラウンド効果音を実現します。
2ch音声の映画や音楽などのソフトも臨場感のあるサラウンド効果音で楽しめます。

オーディストリー

・ステレオ(2chオーディオ)で4種類の音場効果を実現します。
ドラマや音楽・スポーツ番組などをお好みのモードで楽しめます。

自然でキレのよい高音質サウンドを実現する11.2MHz 1ビットデジタルアンプを搭載

・フロントスピーカー用アンプに1ビットデジタルアンプを搭載し、1秒間に約1120万回という高速サンプリングにより、音の分解能力を向上しています。
音の伝送/増幅を1ビットデジタル信号で行い、音の立ち上がりや滑らかさを高品位に再現するほか、アナログ信号処理に比べ音質劣化の少ないクリアーな音質を実現します。

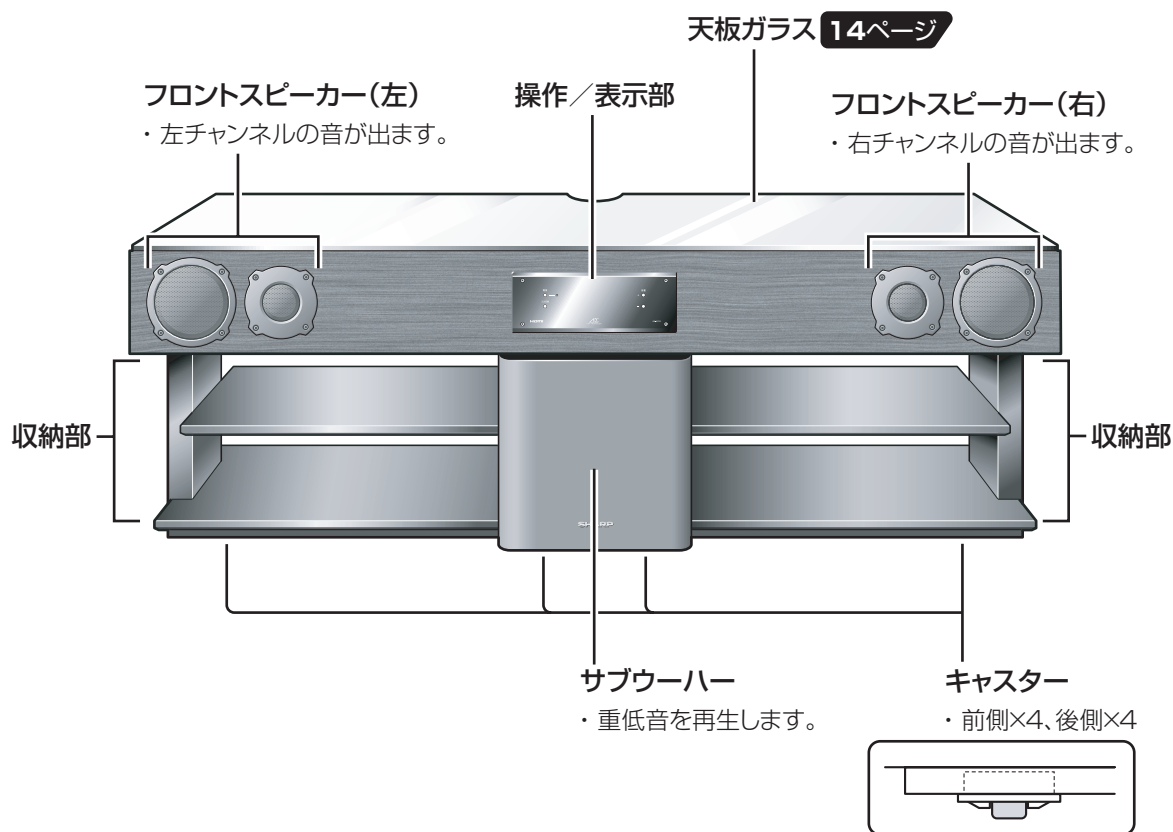
● ファミリンク対応のHDMI入力端子を2系統装備

● スタイリッシュで高級感あふれるAVラックスタイルシアターシステム

● HDDやDVDレコーダーなどを4台まで収納可能な収納部と、移動に便利なキャスターを装備しています。

※この取扱説明書でたんに「アクオス」と表記しているときは、アクオス(液晶テレビ)のことを意味します。

各部のなまえとはたらき

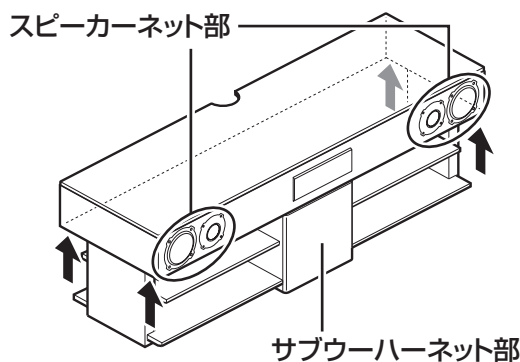
正　面

天板ガラスやキャスター受皿は取り付けが必要です。

取り付けかた→14〜15ページ

ご注意

• サブウーハーは破損しやすいので、お取扱いにご注意ください。

持ち運び時の注意およびスピーカー部の取扱いについて

製品を移動するときや設置するときは、必ず2人以上で行ってください。

ご注意

• 製品を移動するときや設置するときは、前面のスピーカーネット部およびサブウーハーネット部を強く押したり触らないようにしてください。スピーカーネットやスピーカーの破損の原因となります。
天板部の下板側の⬆マークの部分を持ってください。

操作部

電源ボタン 22ページ
・電源を入／切(待機)します。

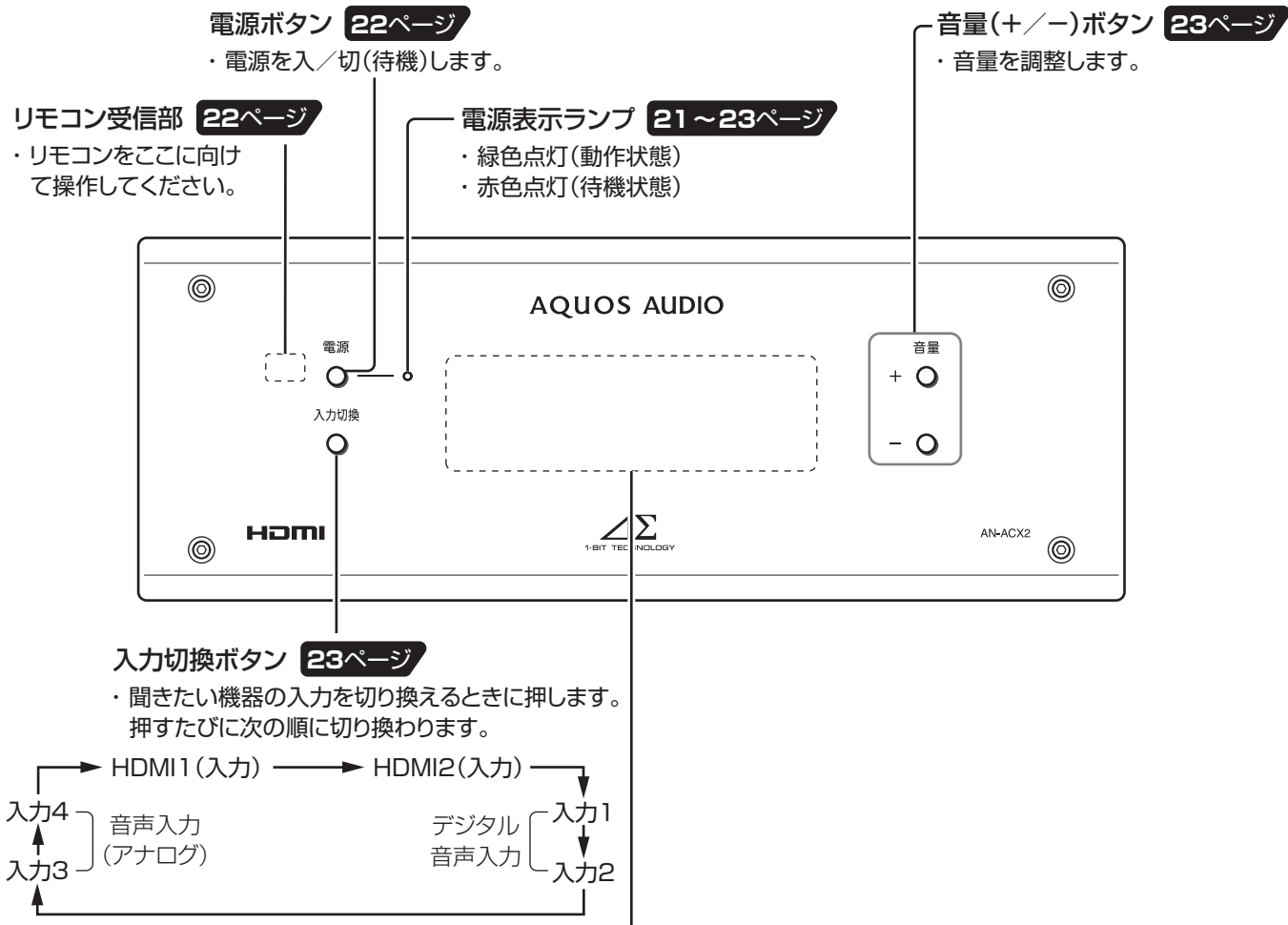
音量(＋／－)ボタン 23ページ
・音量を調整します。

リモコン受信部 22ページ
・リモコンをここに向けて操作してください。

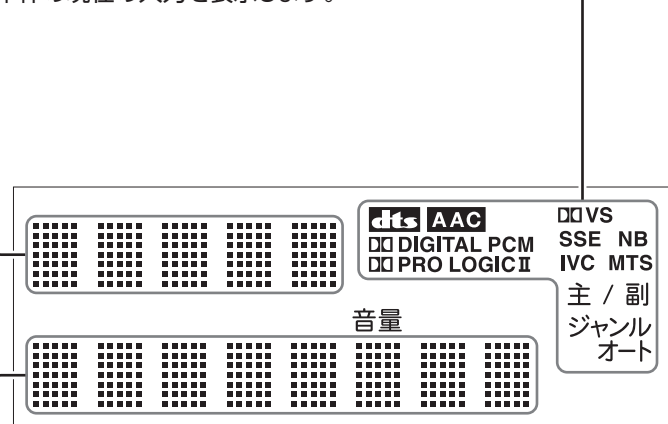
電源表示ランプ 21～23ページ
・緑色点灯(動作状態)
・赤色点灯(待機状態)

AQUOS AUDIO
電源
入力切換
音量
＋
－
HDMI
1-BIT TECHNOLOGY
AN-ACX2

入力切換ボタン 23ページ
・聞きたい機器の入力を切り換えるときに押します。押すたびに次の順に切り換わります。

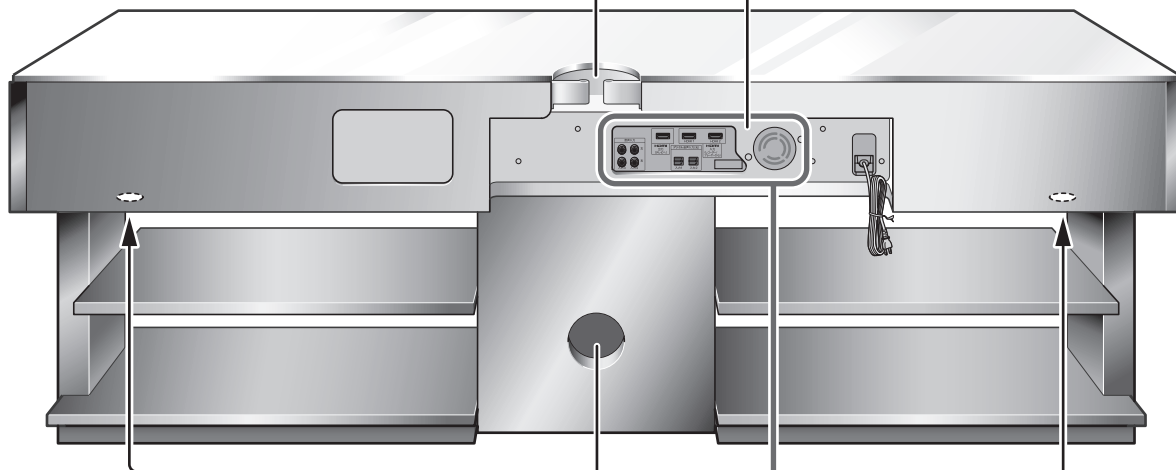
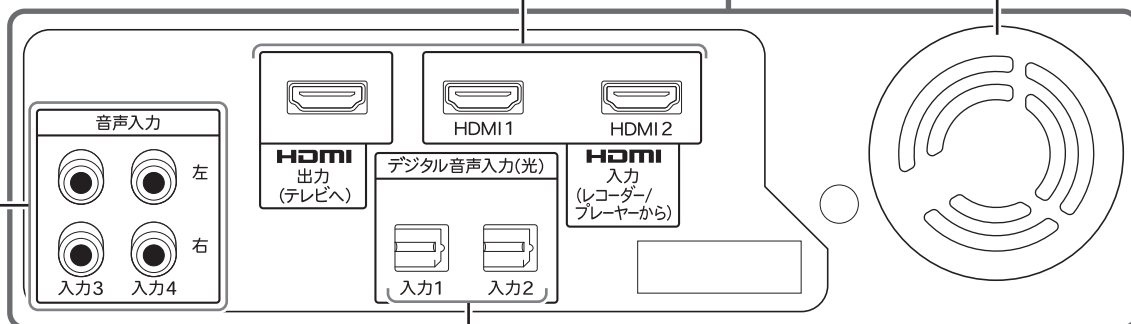
HDMI1(入力) → HDMI2(入力) → 入力1 → 入力2 → 入力3 → 入力4 → HDMI1(入力)
入力1・入力2：デジタル音声入力
入力3・入力4：音声入力(アナログ)

表示部

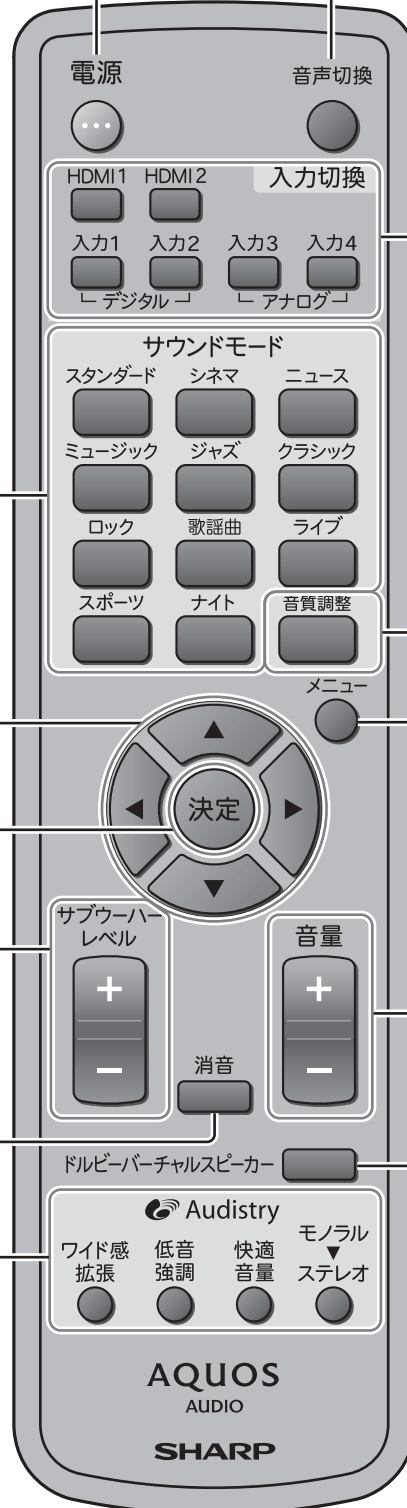
入力切換や音量調整、サウンドモード、サブウーハーのレベル調整、消音モードなど本機の設定を表示します。

表示部(上段)(入力表示) 23ページ
・本体の現在の入力を表示します。

入力信号や設定内容にあわせて点灯します。

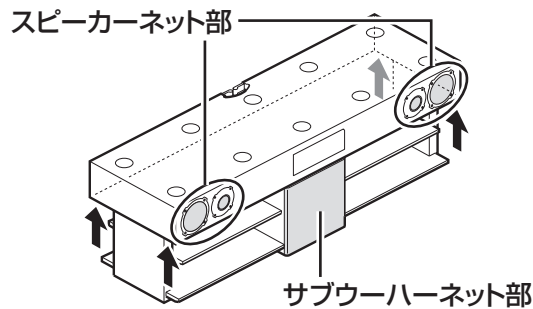
・入力した信号にあわせて点灯します。26ページ
dts、AAC、DD DIGITAL、PCM
・ドルビープロロジックII動作時に点灯します。26ページ
DD PRO LOGIC II
・ドルビーバーチャルスピーカー使用時に点灯します。30ページ
DD VS
・オーディストリー使用時に点灯します。31ページ
SSE ……ワイド感拡張(サウンドスペース)
NB ……低音強調(ナチュラルバス)
IVC ……快適音量(インテリジェントボリューム)
MTS ……モノラル▶ステレオ(モノーステレオ)
・音声多重放送の音声モードの設定内容が表示されます。25ページ
主、副、主/副
・ジャンル設定機能の使用時に点灯します。33ページ
ジャンル オート

表示部(下段)(音量／サウンドモード) 24・28ページ
・サウンドモードや音量、サブウーハーレベル、ドルビーバーチャルスピーカー、オーディストリーなど、各設定の内容が表示されます。

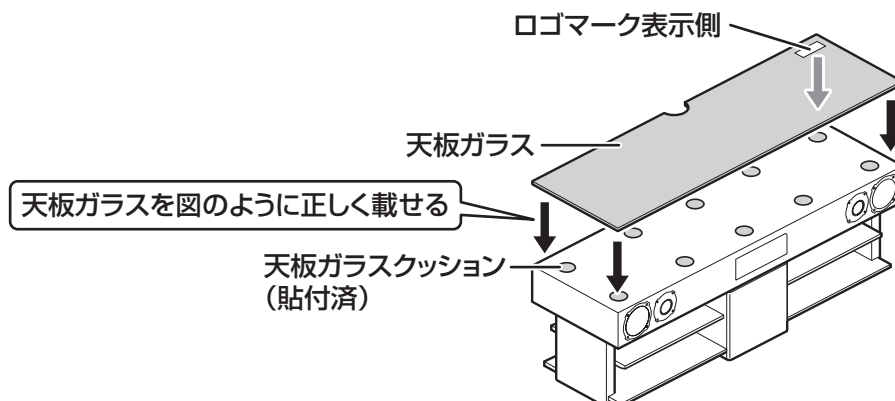
各部のなまえとはたらき（つづき）

リモコン

リモコン送信部
電源ボタン 22ページ
・電源を入／切(待機)します。
音声切換ボタン 25ページ
・音声多重放送の音声信号(主音声／副音声)を切り換えるときに押します。
入力切換ボタン 23ページ
・聞きたい機器の入力を切り換えるときに押します。
サウンドモードボタン 29ページ
・サウンドモードを切り換えるときに押します。
音質調整ボタン 25ページ
・音質を調整するときに押します。
メニュー選択ボタン 25・39ページ
・メニューを選ぶときに押します。
メニューボタン 25・39ページ
・メニューを表示するときに押します。
決定ボタン 25・39ページ
・メニューを決定するときに押します。
サブウーハーレベル調整ボタン 25ページ
・サブウーハーレベルの調整をするときに押します。
音量ボタン 23・24ページ
・音量を調整するときに押します。
消音ボタン 24ページ
・音を一時的に消すときに押します。
ドルビーバーチャルスピーカーボタン 30ページ
・ドルビーバーチャルスピーカーを入／切するときに押します。
オーディストリーボタン 31ページ
・4つのモードの中から、お好みのモードを選ぶときに押します。
電源
音声切換
HDMI1
HDMI2
入力切換
入力1
入力2
入力3
入力4
デジタル
アナログ
サウンドモード
スタンダード
シネマ
ニュース
ミュージック
ジャズ
クラシック
ロック
歌謡曲
ライブ
スポーツ
ナイト
音質調整
メニュー
決定
サブウーハーレベル
音量
消音
ドルビーバーチャルスピーカー
Audistry
ワイド感拡張
低音強調
快適音量
モノラル▼ステレオ
AQUOS
AUDIO
SHARP

本機やテレビなどを設置する

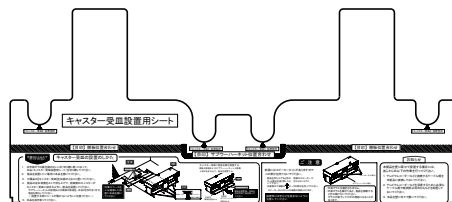
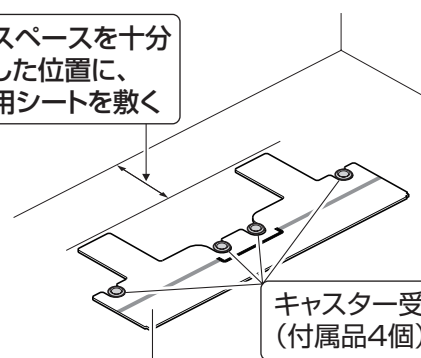
設置する前に

- 安全のために、手袋を着用してください。
- 使用する部品は、付属品について(3ページ)をご覧ください。

- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。
  腰を痛めたり、けがや故障の原因となることがあります。
- 底面には、キャスターが装備されていますので移動可能ですが、床などにキズがつく恐れがありますので、十分気をつけてください。
- 製品を移動するときや設置するときは、前面のスピーカーネット部およびサブウーハーネット部を強く押したり、触らないようにしてください。
  スピーカーネットやスピーカーの破損の原因となります。
  天板部の下板側の⬆マークの部分を持ってください。
- 本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続コード、テレビの転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
  落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやその他の機器を載せたまま移動しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ガラスは強化ガラスを使用していますが、尖った物を落としたりぶつけたりすると、割れることがありますのでご注意ください。

①本機に天板ガラスを載せる

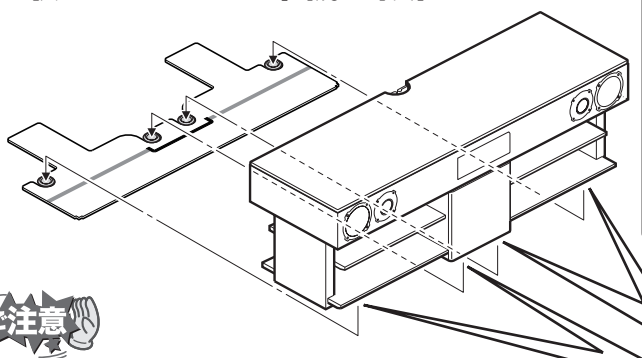
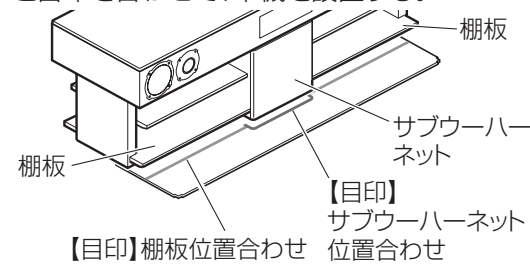
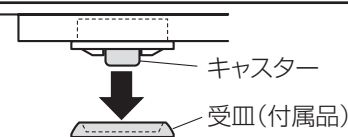
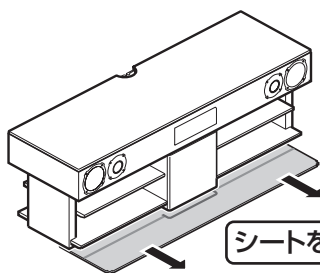
- 天板ガラスは固定されません。
- 天板ガラスを載せたあと、本機を移動するときは傾けないでください。
  ガラスが落下してけがの原因になることがあります。

②本機を部屋に設置する

• テレビやレコーダーなどを設置したり、接続したりするときの作業スペースを確保のうえ、本機を設置してください。

1 天板ガラスの梱包箱をミシン目(切り離し部)に沿って切り離す

2 本機を設置したい場所に、キャスター受皿設置用シートを敷く

3 キャスター受皿をキャスター受皿設置用シートの指定場所に置く

4 本機の左右両側を２人で持ち上げて、前面側のキャスターがキャスター受皿に収まるように、本機を設置する

キャスター受皿に本機を載せ設置する
棚板の前側およびサブウーハーネットの前側と目印を合わせて、本機を設置する。

ご注意

• 設置するときに、シートが動かないように注意してください。
• 設置するときに、足などを挟まないように注意してください。

5 キャスター受皿設置用シートを抜き取る

本機を壁に寄せて設置する場合には、あらかじめ以下の作業を行ってください。

1. テレビやレコーダーなどと接続するケーブル類を本機に接続しておいてください。
2. テレビやレコーダーなどを設置するために必要なケーブル類や転倒防止用のひもなどを配置しておいてください。
3. キャスター受皿設置用シートは、壁に当てて敷いてください。

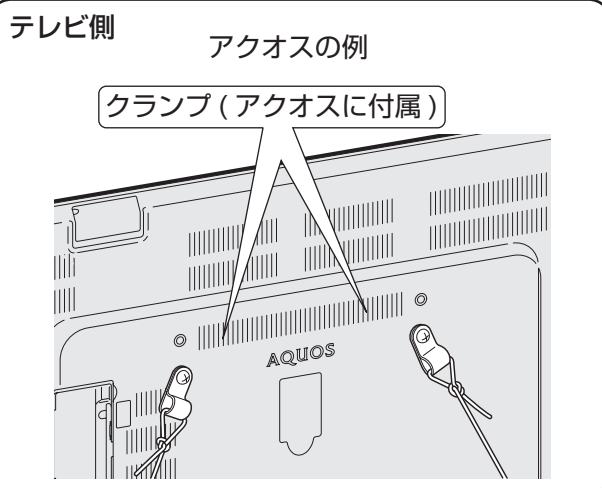
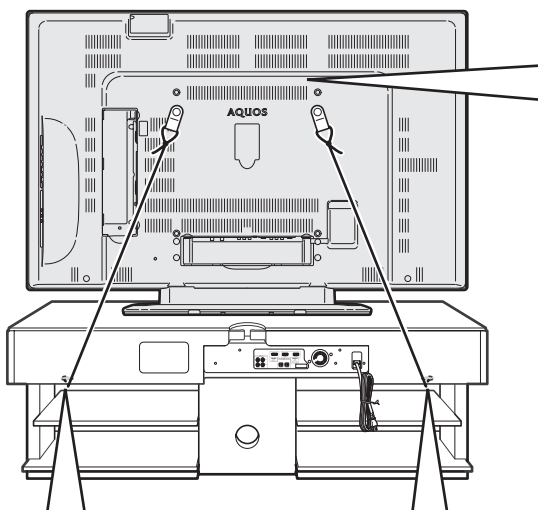
③テレビやレコーダーなどを設置する

• テレビは本機の中央に載せてください。
天板耐荷重:約80kg

安全のためテレビの転倒防止策の実施をお願いします。

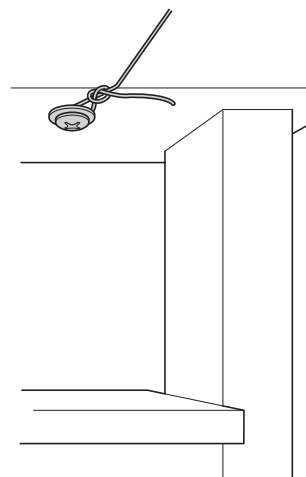
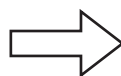
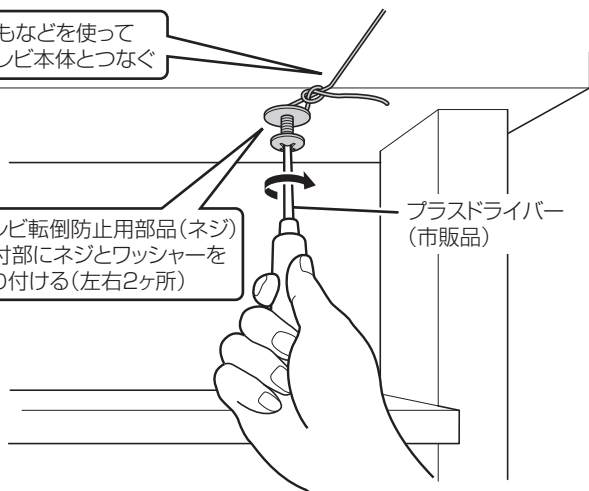
テレビの転倒防止策について

⚠ 注意

• 不意の地震のときや、お子様がテレビや本機に登ったり、ぶらさがったり、揺すったりすると、倒れてけがをする恐れがあります。
• 安心してご使用いただくために、ご使用のテレビの取扱説明書も合わせてご覧のうえ、転倒防止策の実施をお願いします。

本機側　本機背面の天板部下側にテレビ転倒防止用部品(ネジ)取付部が左右2ヶ所あります。この取付部に付属のネジとワッシャーを取り付け、市販の丈夫なひもなどを使って、テレビ本体とつないでください。

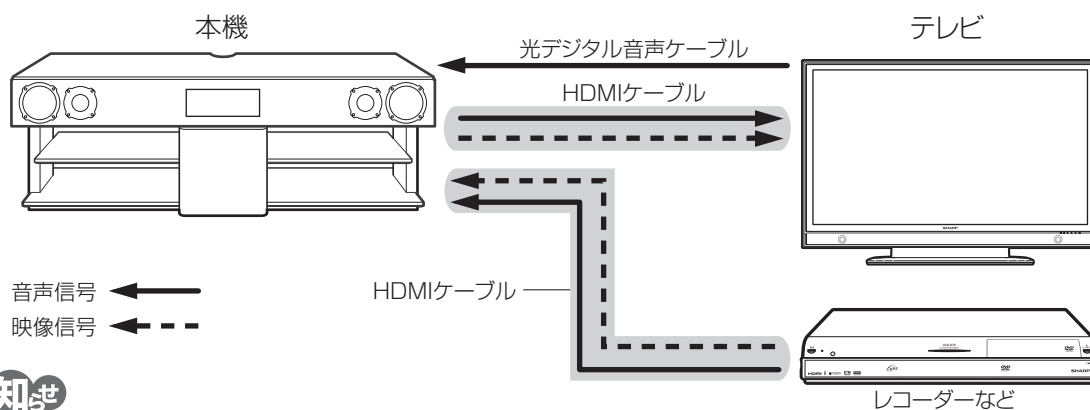
テレビやレコーダーなどと接続する

具体的な接続方法は、
18〜19ページを
ご覧ください。

ご注意

- 接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。
  また、それぞれの機器の取扱説明書もよくご覧ください。
- HDMI CEC対応のオーディオ製品を本機やテレビに接続しないでください。
  ファミリンクによる正常な連動動作ができなくなります。

■ 本機には、外部スピーカーを接続することはできません。
■ 下図は本機を使用した場合の音声または映像信号の流れを表しています。

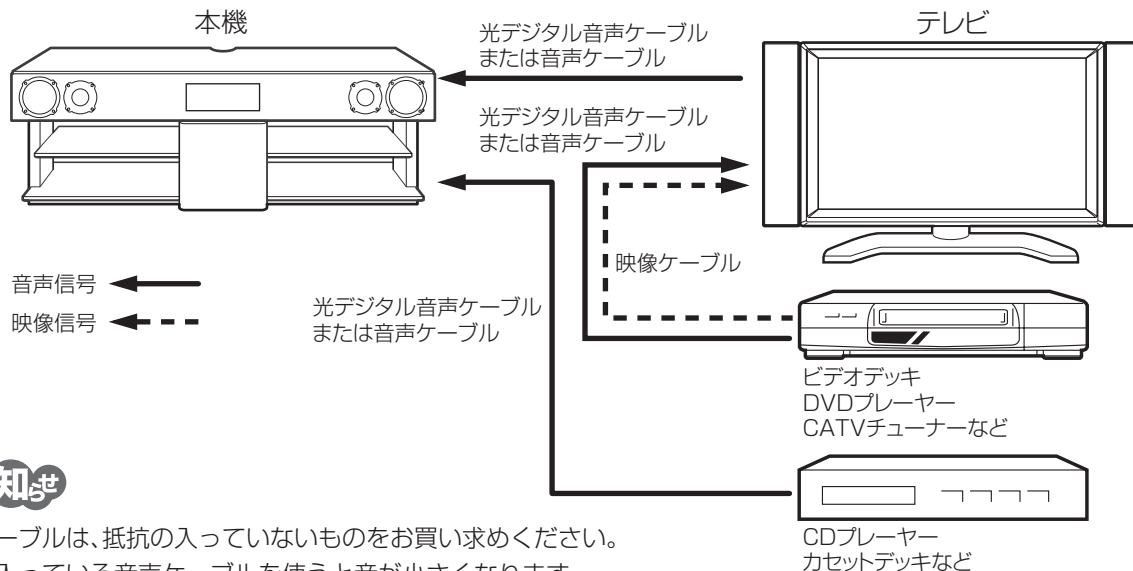
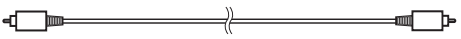
HDMI端子がある機器と接続した場合の信号の流れ

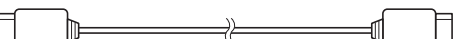
お知らせ

- HDMI機器はなるべく本機のHDMI入力に接続してください。
  テレビに直接接続されたHDMI機器の音声を本機で聞くことができない場合があります。
- 本機の入力切換が HDMI1 または HDMI2 以外のときは、レコーダーなどの音声をテレビで聞くことはできません。

ファミリンク機能

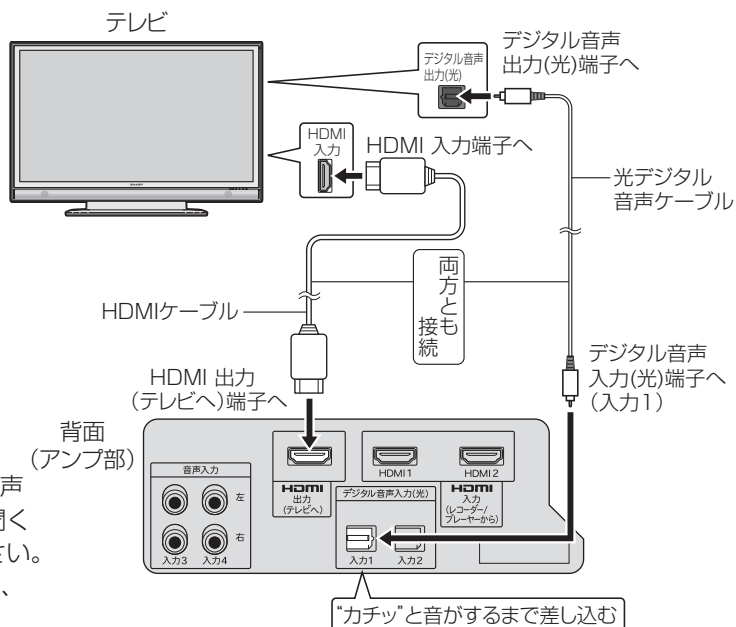
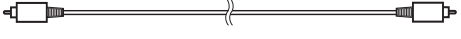
HDMI CEC(Consumer Electronics Control) 対応のアクオスやデジタルハイビジョンレコーダーなどの機器と接続することで、これらの機器が相互に連携し動作する機能です。
（本機のファミリンク機能を正しくお使いいただくために、32〜38ページを参照してください。）

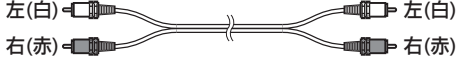
HDMI端子がない機器と接続した場合の信号の流れ

お知らせ

- 音声ケーブルは、抵抗の入っていないものをお買い求めください。
  抵抗の入っている音声ケーブルを使うと音が小さくなります。

テレビと接続する(HDMI端子がある機器)

光デジタル音声ケーブルと**HDMIケーブル**の両方を使ってテレビと接続します。

ファミリンク機能(**32〜38**ページ)を使用する場合は、テレビの音声を入力1に接続してください。
入力2に接続している場合、手動で入力2に切り換えてください。

お知らせ

- HDMIケーブルの接続だけでは、本機でテレビの音声を聞くことはできません。本機でテレビの音声を聞く場合は、光デジタル音声ケーブルをつないでください。
- HDMI CEC対応のアクオスなどを接続した場合は、ファミリンク機能が使用できます。(**32〜38**ページ)

テレビと接続する(HDMI端子がない機器)

光デジタル音声ケーブルを使ってテレビと接続します。
テレビにデジタル音声出力端子がないときは、**音声ケーブル**(アナログ)で接続します。

使うケーブル

光デジタル音声ケーブル（付属品）

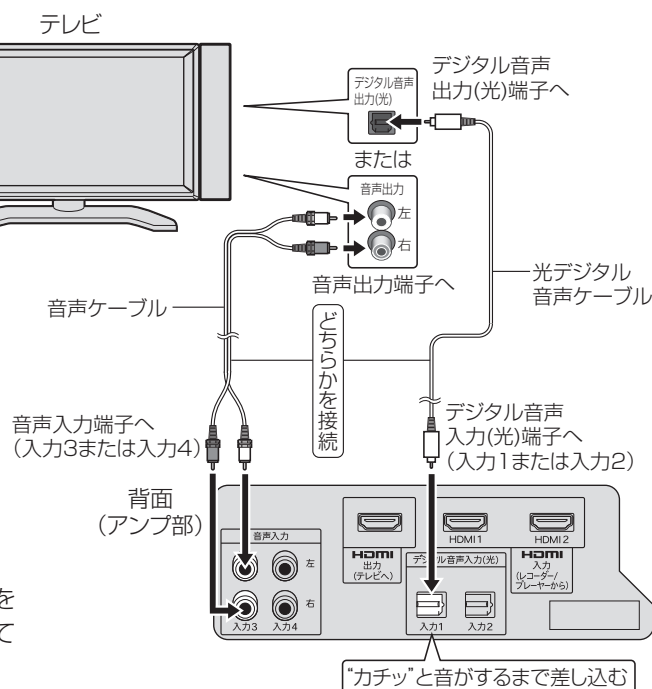
使用する前に、保護キャップを取り外し接続してください。

音声ケーブル（市販品）

左(白) 左(白)
右(赤) 右(赤)

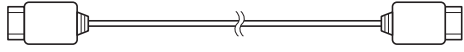
テレビ
デジタル音声出力(光)端子へ
または
音声出力端子へ
光デジタル音声ケーブル
音声ケーブル
どちらかを接続
音声入力端子へ(入力3または入力4)
デジタル音声入力(光)端子へ(入力1または入力2)
背面(アンプ部)
"カチッ"と音がするまで差し込む

お知らせ

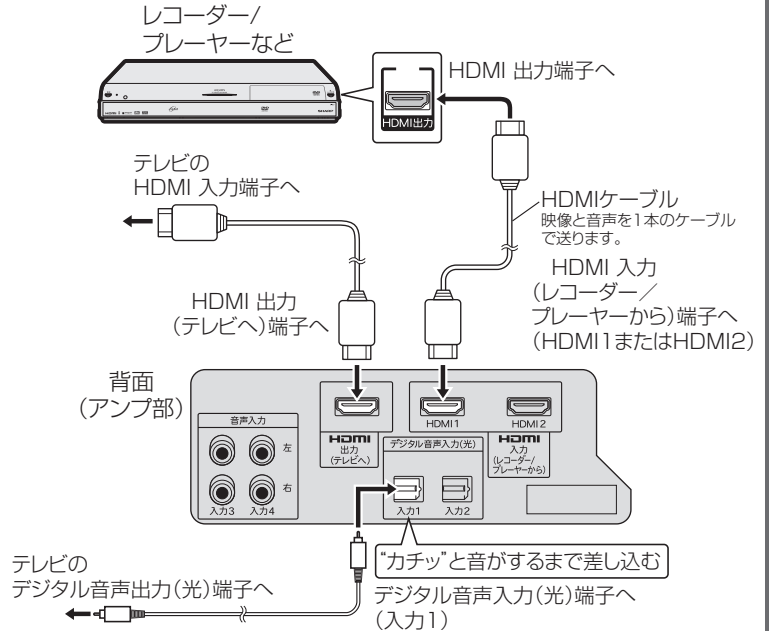
- 音声ケーブルでテレビと接続している場合、音声多重放送をお聞きになるときは、テレビのリモコンで音声を切り換えてください。

レコーダー／プレーヤーなどと接続する（HDMI端子がある機器）

HDMIケーブルを使ってレコーダー／プレーヤーなどと接続します。

使うケーブル

HDMI ケーブル（付属品または市販品）

使用する前に、保護キャップを取り外し接続してください。

お知らせ

- HDMI CEC対応のアクオスやデジタルハイビジョンレコーダーなどを接続した場合は、ファミリンク機能が使用できます。（**32〜38**ページ）
- 市販品のHDMIケーブルをお使いになるときは、より安定した動作や画質劣化などの防止のため、3m以下のケーブルによる接続をおすすめします。

CDプレーヤーやカセットデッキなどと接続する（HDMI端子がない機器）

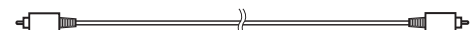
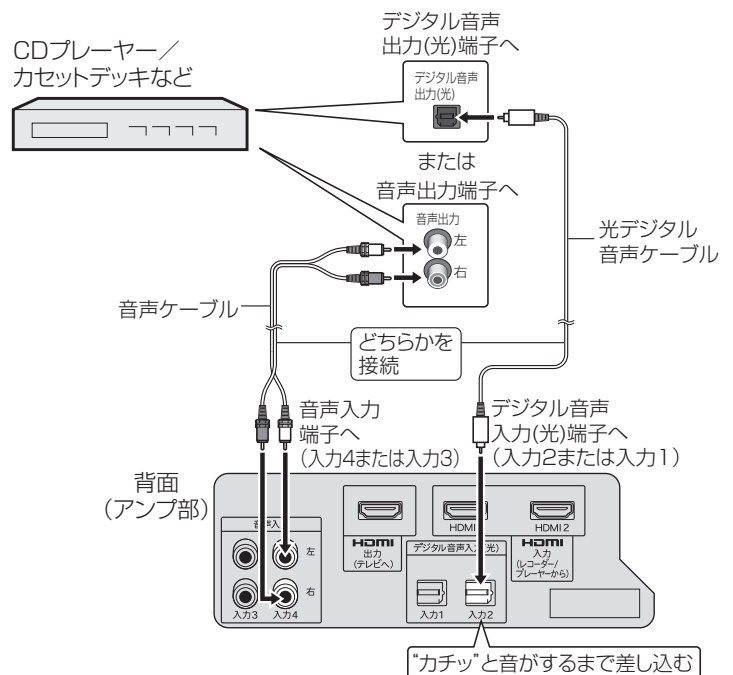
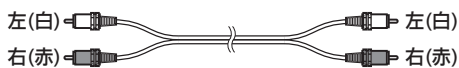
光デジタル音声ケーブルや**音声ケーブル**を使ってCDプレーヤーやカセットデッキなどと接続します。

使うケーブル

光デジタル音声ケーブル（付属品または市販品）

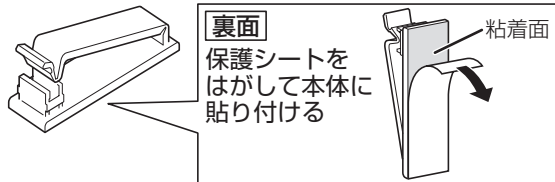
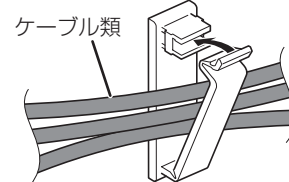
使用する前に、保護キャップを取り外し接続してください。

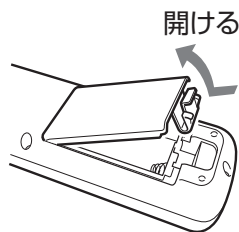
音声ケーブル（市販品）

左(白) 左(白)
右(赤) 右(赤)

ケーブルクランプについて/リモコンに乾電池を入れる

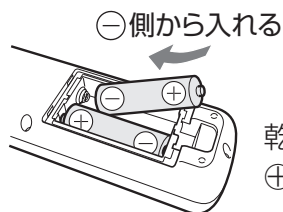
ケーブルクランプについて

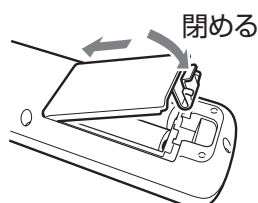
本機背面アンプ部の端子につないだケーブル類は、付属品のケーブルクランプを使って配線すると、すっきりまとめることができます。
必要に応じてご使用ください。

①ケーブルクランプを本体に貼り付ける

②ケーブルを固定する

リモコンに乾電池を入れる

1 フタのつまみを押して、矢印の方向に開ける

リモコン用乾電池の交換時期は？

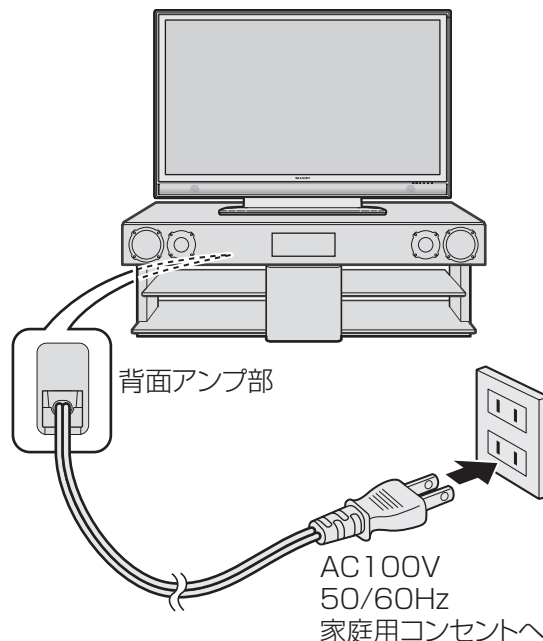
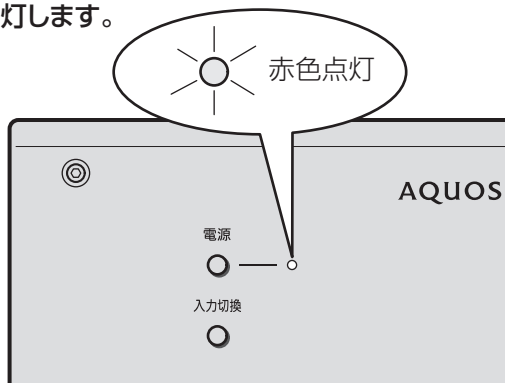
通常のご使用で約1年です。
リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

2 単3乾電池を2本入れる

乾電池の方向に注意して入れてください。
⊕、⊖を間違えると、故障の原因となります。

3 フタを閉める

- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電池では正しく動作しません。

電源を接続する

電源を接続する

各機器の接続が終わったら、最後に電源プラグを家庭用コンセントに差し込んでください。

- それぞれの機器の電源プラグを差し込むときは、テレビの電源プラグを最後に差し込んでください。
- HDMI ケーブルの抜き差しや接続方法を変えた場合は、全ての機器の電源を入れた状態でテレビの電源を入れ直してください。

節電のために
旅行などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、多少ですが電力を消費しています。

- 電源プラグを抜くときは、電源を切ってからプラグを持って抜いてください。線を引っ張ると断線の原因となります。

防磁対応について

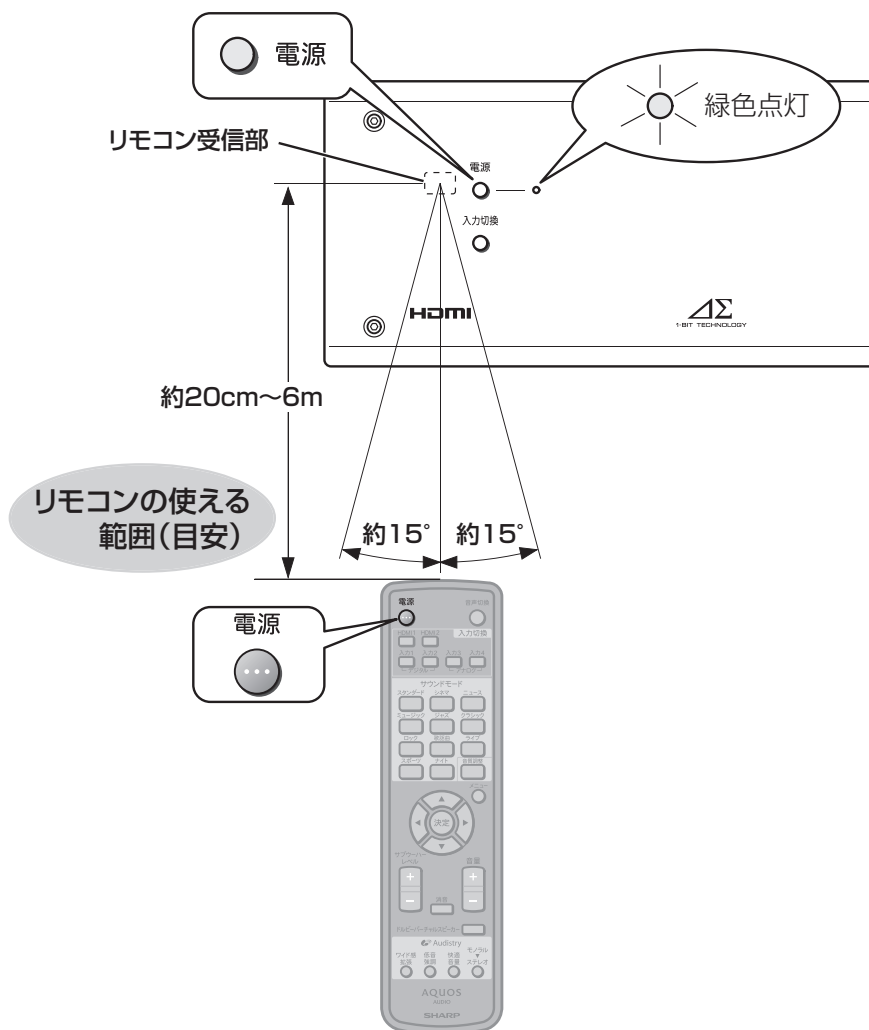
フロントスピーカーは、防磁対応されています。
ただし、使うテレビによっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビ画面に色ムラがおきたら…
いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

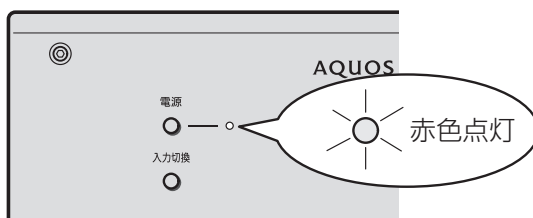
それでも色ムラが残るときは…
テレビの位置を少し変えてみてください。
近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

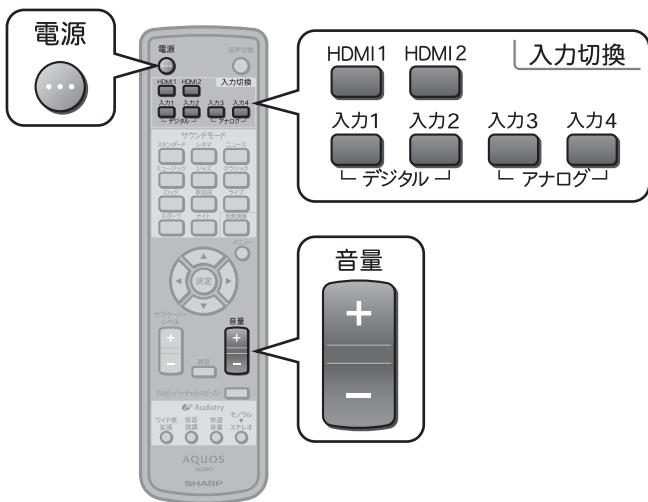
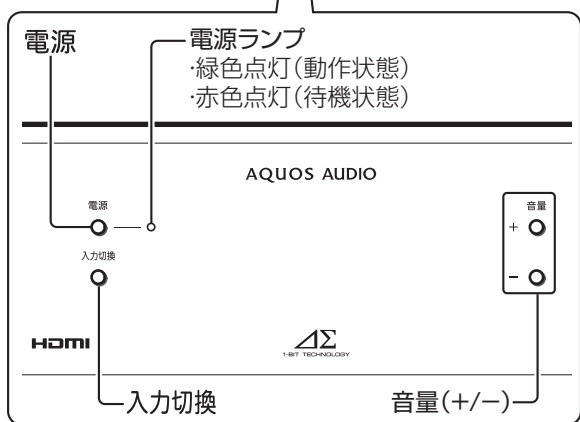
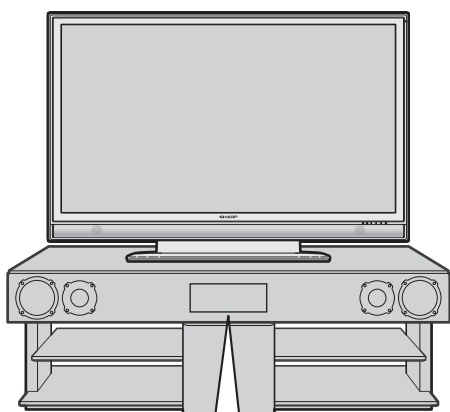
- サブウーハーは、防磁対応ではありません。

電源を入れる

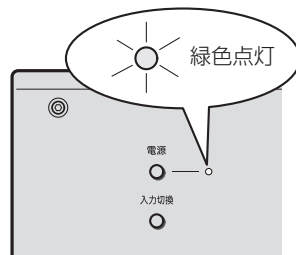
1 電源（本体）または 電源（リモコン）を押す

2 電源を切るには…

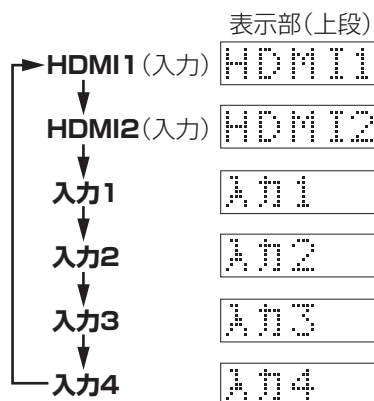
もう一度、電源（本体）または 電源（リモコン）を押す

お知らせ

- 電源が入らないときは、電源プラグがコンセントに正しく接続されているか、またはリモコンに乾電池が正しく入っているか確認してください。
- リモコン受信部に強い光があたる場所では使用しないでください。
  誤動作の原因となります。
- リモコン受信部や送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。
  リモコンの操作ができなくなります。
- リモコン受信部や送信部にほこりがたまると、動作しにくくなることがあります。やわらかい布でふきとってください。
- 電源を入れて約8秒後から音を出すことができます。
- 電源を切ったあとの数秒間は、すぐに電源が入りません。

テレビやDVD、ビデオなどの音を聞く

音のエチケットについて

- 楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。
  ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

1 電源 を押して、本機の電源を入れる

2 聞きたい機器の「入力切換」ボタンを押して、入力を選ぶ(表示部の上段に表示が出た後、操作してください)

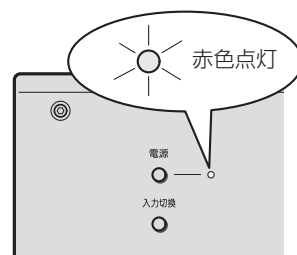
- 次の順に切り換わります。
  (動作は表示より少し遅れます。)

- リモコンで操作するときは、聞きたい機器の入力ボタンを押します。

3 聞きたい機器を再生する

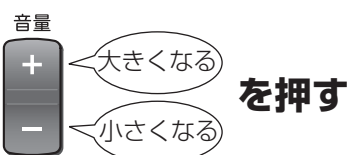
4 音量 を押して、音量を調整する (24ページ)

5 サラウンドやいろいろな音質を楽しむ(27～31ページ)

聞き終えたら

電源 を押して、電源を切る
(音量を下げたあと、電源を切ってください。)

音量などを調整する

音量を調整するには

を押す

- 音量レベルが表示されます。

調整範囲　:0(小)～40(大)　　約3秒表示

一時的に音を消すには

消音 **を押す**

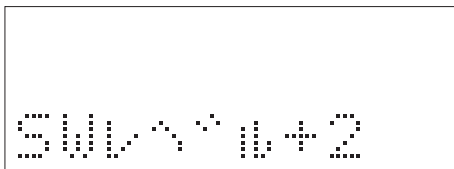
約3秒点滅

- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。
- 他のボタン操作をしても、消音モードは解除されます。
  ただし、入力切換や音声切換、メニューの操作をしたときは、解除されません。
- 電源を切って入れ直すと、消音モードは解除されます。

サブウーハーの音量レベルを調整するには

サブウーハーから聞こえる音の大きさを調整します。

を押す

- 現在のサブウーハーの音量レベルが表示されます。表示されている間(約３秒以内)に、もう一度押すとサブウーハーの音量レベルを変えることができます。

約3秒表示

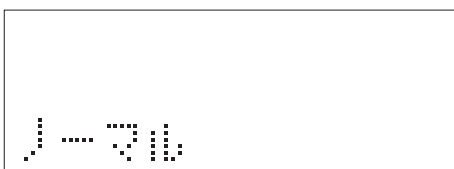
- サブウーハーの音が大きすぎて歪むときは、サブウーハーのレベルを下げてください。

音質を変えるには

３種類の音質モードの中からお好みの音質モードに変えることができます。

を押す

- 現在の音質モードが表示されます。
  表示されている間(約３秒以内)に、もう一度押すと音質モードを変えることができます。
- 押すたびに次の順に切り換わります。

ノーマル→ヘビー→ライト

約3秒表示

- 次のサウンドモードのときは、音質を変えることはできません。
  スタンダード、ニュース、スポーツ、ナイト、ドルビーバーチャルスピーカー、オーディストリー

このとき、「音質調整」ボタンを操作すると、サウンドモード表示が点滅表示となります。

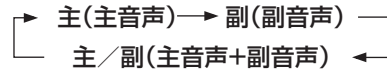
音声を切り換えるには

音声多重放送を見ているとき、主音声と副音声切り換えることができます。

を押す

- 押すたびに次の順に切り換わります。

主(主音声)→副(副音声)→主／副(主音声+副音声)

お知らせ

- 接続している機器のデジタル音声出力設定をAACにしてください。PCMでは機能しません。

表示部を消灯モードにするには

1 メニュー **を押す**

メニュー
HDMI オン

2 **で「ディマー」を選ぶ**

メニュー
ディマー オフ

3 オン／オフ **で「オン」を選び、決定を押す**

メニュー
ディマー オン

- 表示部が消灯します。
- DVS、オーディストリーが設定されている場合、サウンドモードを示すアイコンは、消灯モードのときも点灯します。
- 消灯モードのときにボタン操作を行うと、現在の設定を約3秒表示したあと、消灯します。

設定を元に戻すには…

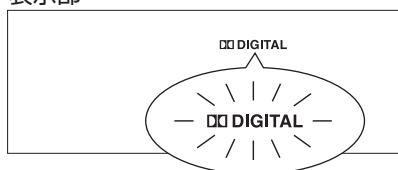
「オフ」を選び、決定を押します。

各種デコーダーについて

■ この製品には、ドルビーデジタル方式･DTS方式･デジタル放送のAAC方式に対応した各種デコーダーを搭載しています。

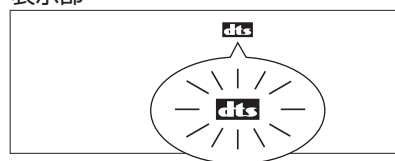
ドルビー　デジタル
DOLBY DIGITAL

劇場向けデジタル音声システムの1つです。
本機では、このドルビーデジタル方式の音を楽しむことができます。

表示部

・ドルビーデジタル方式の信号が入力されると点灯。

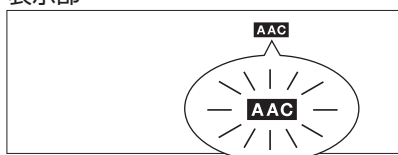
デジタル　シアター　システムズ
DTS(Digital Theater Systems)

劇場向けデジタル音声システムの1つです。
本機では、このDTS方式の音を楽しむことができます。

表示部

・DTS方式の信号が入力されると点灯。

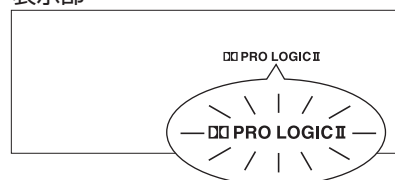
アドバンスド　オーディオ　コーディング
AAC(Advanced Audio Coding)

BSデジタル放送に採用されているデジタル音声システムです。デジタルチューナーからの出力を光デジタル音声ケーブルを使って本機に接続したときは、高音質な音を楽しむことができます。

表示部

・デジタル放送のAAC方式の信号が入力されると点灯。

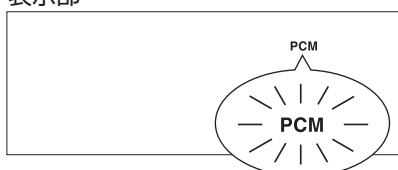
ドルビー　プロ　ロジック
DOLBY PRO LOGIC Ⅱ

2chステレオ音声を広がりのある音に拡張するシステムで、2chステレオ信号のとき、ドルビーバーチャルスピーカーを「オン」にすると、ドルビープロロジックⅡが働き、立体的な音響効果を楽しめます。

表示部

・ドルビープロロジックⅡが働くと点灯。

パルス　コード　モジュレーション
PCM(Pulse Code Modulation)

CDやDVDなどに採用されているデジタル音声信号の総称です。
本機では、CD や DVD などのデジタル音声を楽しむことができます。

表示部

・PCM信号が入力されると点灯。

サラウンドやいろいろな音質を楽しむ

プリセットサウンドモードで楽しむ

28～29ページ

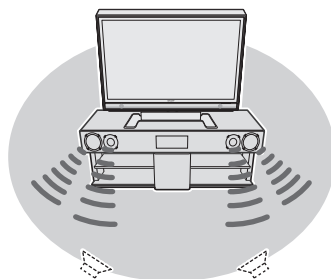
11種類のモードの中からお好みの音場を手がるに選べます。

- **スタンダード**
- **シネマ**
- **ニュース**
- **ミュージック**
- **ジャズ**
- **クラシック**
- **ロック**
- **カヨウキョク（歌謡曲）**
- **ライブ**
- **スポーツ**
- **ナイト**

ドルビーバーチャルスピーカー(DVS)で聞く

30ページ

2つのスピーカーとサブウーハー(2.1ch)のシステムでサラウンド再生が楽しめます。

2.1chのシステムで5.1chのような立体的な広がりのあるサウンドを楽しむことができます。

オーディストリー(Audistry)のサウンドを楽しむ

31ページ

4つの機能を単独あるいは、組み合せて、お好みのサウンドを楽しめます。

- **ワイド感拡張**（サウンドスペース）
- **低音強調**（ナチュラルバス）
- **快適音量**（インテリジェントボリューム）
- **モノラル ▶ ステレオ**（モノーステレオ）

プリセットサウンドモードと音のイメージ

表示部（下段）
スタンダード
標準の音声で楽しめます。

表示部（下段）
ロック
低音と高音を強調し、歯切れの良いメリハリのある音で楽しめます。
ロックやポップスなどを聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
シネマ
低音が強調された迫力のある音と、5.1chのような広がりのある音場で楽しめます。
映画などを聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
カヨウキョク
中低音を強調し、広がりのある音場で楽しめます。
演歌や歌謡曲などを聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
ニュース
低音を抑え、小音量にしても聞き取りやすいクリアな音声になります。
ニュースなどを聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
ライブ
低音と高音を強調し、広がりのある音で楽しめます。
ライブやコンサートなどを聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
ミュージック
自然で広がりのある音で楽しめます。
音楽などに適したモードです。

表示部（下段）
スポーツ
解説者の声は聞き取りやすく、歓声などは広がりのある音場で楽しめます。
野球やサッカーなどのスポーツ中継を聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
ジャズ
低音と高音を若干強調し、伸びのある音で楽しめます。
ジャズなどを聞くときに適したモードです。

表示部（下段）
ナイト
大きな音を抑え、小音量にしてもセリフが聞きとりやすく、5.1chのような広がりのある音場で楽しめます。
映画などの音を深夜に小音量で聞くときに適したモードです。

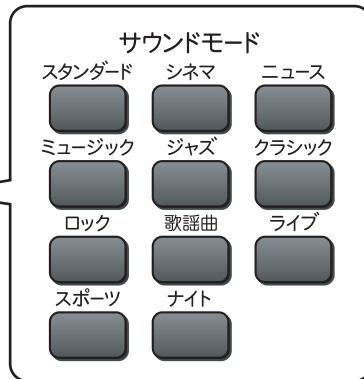
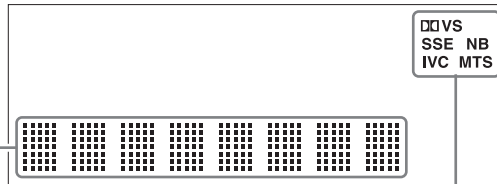
表示部（下段）
クラシック
低音を若干強調し、高域に伸びのある音で楽しめます。
クラシックなどを聞くときに適したモードです。

お知らせ

- それぞれのプリセットサウンドモードのサブウーハーの音量レベルは、推奨のレベル値にあらかじめ設定されています。
- サブウーハーの音量レベル調整（**25**ページ）は、それぞれのプリセットサウンドモード毎に設定することができます。
  お買いあげ時の状態に戻したいときは、〈お買い上げ時の設定状態に戻すには〉（**44**ページ）を行ってください。

プリセットサウンドモードを選んで聞くには

■ 最適な音質となるように、推奨するレベル値に調整された11種類のプリセットサウンドモードの中から、お好みのサウンドモードを選んで楽しめます。

聞きたいサウンドモードボタンを押す

プリセットサウンドモードの種類	表示部下段のモード表示	ドルビーバーチャルスピーカー VS	サウンドスペース SSE	ナチュラルバス NB	インテリジェントボリューム IVC	モノ▶ステレオ MTS
スタンダード	スタンダード	—	—	—	—	—
シネマ	シネマ	◎	—	◎	—	—
ニュース	ニュース	—	—	—	◎	—
ミュージック	ミュージック	○	△	—	—	—
ジャズ	ジャズ	○	—	—	—	—
クラシック	クラシック	○	—	—	—	—
ロック	ロック	○	△	◎	—	—
カヨウキョク(歌謡曲)	カヨウキョク	○	△	◎	—	—
ライブ	ライブ	○	△	—	—	—
スポーツ	スポーツ	○	△	—	◎	—
ナイト	ナイト	◎	—	◎	◎	—

◎:マルチチャンネル信号/ステレオ信号時に点灯　　△:ステレオ信号時のみ点灯
○:マルチチャンネル信号時のみ点灯　　—:消灯

ドルビーバーチャルスピーカー(DVS)で聞く

■ ドルビーバーチャルスピーカー(DVS)は、2.1chスピーカーで5.1chを鳴らしたときと同じような響きのある立体的な仮想サラウンドを楽しむことができるシステムです。
2chのステレオ信号でもDVSを「オン」にすると、ドルビープロロジックⅡ(**26**ページ)が働いて、5.1chに変換された信号をもとに、仮想サラウンドの効果を得ることができます。

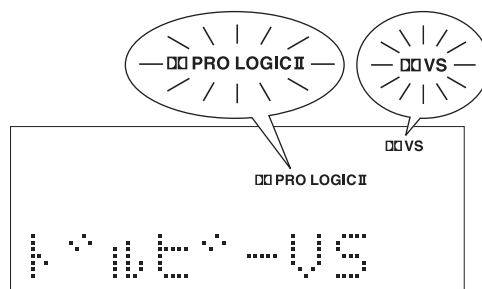
ドルビーバーチャルスピーカー を押す

押すたびに「オン」「オフ」が切り換わります。

オン時

ドルビーバーチャルスピーカーが働き、5.1chのような立体的な仮想サラウンドを楽しめます。

シネマモードにくらべて、低音のレベルを少し抑えた感じになります。

2chのステレオ信号のときは、**DD PRO LOGICⅡ** も点灯します。

約3秒表示

•「オン」のときは、表示部の**DDVS** が点灯し、表示部下段に「ドルビーVS」が約3秒表示されます。

オフ時

ドルビーバーチャルスピーカーの動作が解除されます。

ドルビーバーチャルスピーカーが 「オフ」のときは、プリセットサウンドモード(**28**～**29**ページ)やオーディストリー(**31**ページ)を使って、いろいろな音を楽しむことができます。

お知らせ

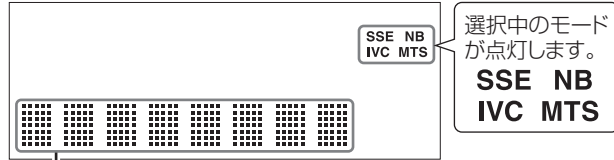
- DVSを「オン」にすると、プリセットサウンドモードの設定と、オーディストリー(ワイド感拡張モード、モノラル▶ステレオモード)の設定は解除されます。(オーディストリーの低音強調モードと快適音量モードの設定は、解除されません。)
- モノラル信号では、サラウンド効果を得ることはできません。
- 入力信号の種類によっては、DVSが働かないことがあります。(例:音声多重などの信号のとき)
そのときは、表示部の**DDVS** が点滅し、DVSの効果は得られません。DVSを「オフ」にしてください。

オーディストリー(Audistry)のサウンドを楽しむ

■ 4つのモードをそれぞれ単独あるいは組み合わせて、お好みのサウンドをお楽しみください。

聞きたいモードのボタンを押す

- 表示部の表示が切り換わります。
- もう一度押すと解除できます。

表示部

ワイド感拡張 (サウンドスペース)

4つのスピーカーからワイドなステレオ感のある音を楽しめます。

表示部(下段) 約3秒表示：ワイド

点灯表示 **SSE**

低音強調 (ナチュラルバス)

システムの低域特性を最大限に生かした低音を楽しめます。

表示部(下段) 約3秒表示：テイオン

点灯表示 **NB**

快適音量 (インテリジェントボリューム)

音の大きな場面では音量を下げ、音の小さな場面では音量を上げ、聞きやすい適切な音量感を実現します。

表示部(下段) 約3秒表示：カイテキ

点灯表示 **IVC**

モノラル▶ステレオ (モノーステレオ)

モノラルの音源をステレオ感覚で楽しむことができます。

表示部(下段) 約3秒表示：モノ→ステ

点灯表示 **MTS**

同時に設定可能な組み合わせ

○:有効 ×:無効

	ワイド感拡張	低音強調	快適音量	モノラル▶ステレオ
ワイド感拡張選択時	／	○	○	○
低音強調選択時	○	／	○	○
快適音量選択時	○	○	／	○
モノラル▶ ステレオ選択時	○	○	○	／
DVS選択時	×	○	○	×

お知らせ

- オーディストリーの各モードを「オン」にすると、プリセットサウンドモードの設定は解除されます。
- ワイド感拡張モードやモノラル▶ステレオモードを「オン」にすると、DVSの設定も解除されます。(低音強調モードや快適音量モードを「オン」にしても、DVSの設定は解除されません。)
- 入力信号の種類によっては、ワイド感拡張モードやモノラル▶ステレオモードが働かないことがあります。(例:音声多重などの信号のとき)そのときは、サウンドスペース表示(**SSE**)、モノーステレオ表示(**MTS**)が点滅し、それぞれのモードの効果を得ることはできません。

ファミリンクについて

ファミリンク機能*1とは

■ HDMI CEC(Consumer Electronics Control)対応の当社製アクオスやデジタルハイビジョンレコーダーなどの機器と接続することで、これらの機器が相互に連携し動作する機能です。

■ アクオスのリモコン(またはデジタルハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコン)をアクオスに向けて操作することにより、本機の電源「入／切」や音量調整、消音、音声切換などを行うことができます。
また、アクオスやデジタルハイビジョンレコーダーの動作に連動して、本機の入力切換が自動で切り換わります。
ただし、アクオスのファミリンク機能選択で、「AQUOSオーディオで聞く」*2モードを選んでいない場合は、これらの機能は働きません(ただし、本機の電源「切」は設定に関係なく連動します)。

＊1 製品によっては、ファミリンク機能の名称ではなく、HDMIコントロール機能という名称を使用しているものもあります。

＊2 製品によっては、「AQUOSオーディオで聞く」ではなく、「AQUOSサラウンドで聞く」という名称を使用しているものもあります。(下表のタイプBの製品)

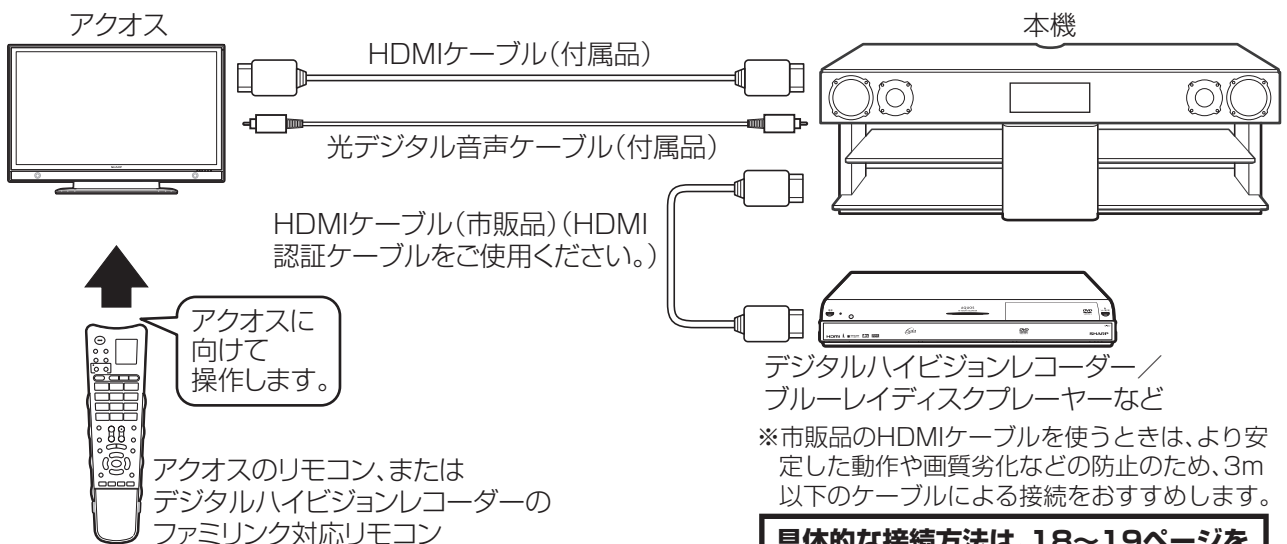
また、新製品など下表に該当しないファミリンク対応製品と組み合わせてご使用の場合は、操作方法や表示内容が本書に記載されている内容と異なる場合があります。

ファミリンクに対応している当社製製品(2007年7月現在)

アクオス	タイプ A	LC-52GX3W、LC-52GX4W、LC-46GX3W、LC-46GX4W、LC-42GX3W、LC-42GX4W、LC-37GX3W、LC-37GX4W、LC-32GH3、LC-32GH4、LC-26GH3、LC-26GH4
	タイプ B	LC-65RX1W、LC-57RX1W、LC-52RX1W、LC-52GX1W、LC-52GX2W、LC-46RX1W、LC-46GX1W、LC-46GX2W、LC-42RX1W、LC-42GX1W、LC-42GX2W、LC-37GS10、LC-37GS20、LC-37GX1W、LC-37GX2W、LC-37GH1、LC-37GH2、LC-32DS1、LC-32GS10、LC-32GS20、LC-32GH1、LC-32GH2、LC-32D10、LC-26D10、LC-20D10
デジタルハイビジョンレコーダー		DV-ACW80、DV-ACW75、DV-ACW72、DV-ACW60、DV-ACW55、DV-ACW52、DV-ACW38、DV-AC75、DV-AC72、DV-AC55、DV-AC52、DV-AC34、DV-AC32、DV-ACV32
ブルーレイディスクプレーヤー		BD-HP1

※市販品のHDMIケーブルを使うときは、より安定した動作や画質劣化などの防止のため、3m以下のケーブルによる接続をおすすめします。

具体的な接続方法は、18〜19ページをご覧ください。

お知らせ

- ファミリンク機能を使うには、本機とアクオスやデジタルハイビジョンレコーダー、ブルーレイディスクプレーヤーなどをHDMIケーブルで接続する必要があります。
ファミリンクに対応した当社製アクオス、デジタルハイビジョンレコーダー、ブルーレイディスクプレーヤーなどを直接接続してください。
- アクオスのリモコンやデジタルハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコンをアクオスに向けて操作してください。
本機やデジタルハイビジョンレコーダーなどは、ファミリンクのリモコン信号を直接受信しません。
- 詳しくは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

ファミリンク機能を使うために
アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報に合わせて、本機のサウンドモードが自動で切り換わるように設定する

アクオスの「ジャンル連動設定」を「する」に設定すると、デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組内容に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。

- ジャンル情報の詳細につきましては、**37** ページをご覧ください。

1 メニュー を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 で「機能切換」－「ファミリンク設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「ジャンル連動設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

4 で「する」を選び、決定 を押す

本機の表示部　アクオスの画面例

5 メニュー を押す

- メニュー画面が消えます。

ジャンル連動設定を解除するには…

上記の手順4で「しない」を選び、決定 を押します。

デジタル放送のサラウンド番組を迫力ある音声で聞けるように設定する

アクオスの「デジタル音声設定」を「AAC」に設定すると、デジタル放送のサラウンド番組があるテレビ番組を本機で聞いているとき、迫力ある音声で聞くことができます。

1 メニュー を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 で「デジタル設定」－「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「AAC」を選び、決定 を押す

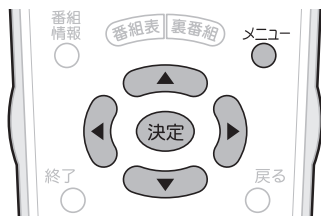
アクオスの画面例

4 メニュー を押す

- メニュー画面が消えます。

「PCM」に設定した状態では…

- 音声多重放送の受信中に、アクオスのリモコンでアクオスに向けて音声切換の操作をしたとき、アクオスの画面には「主」や「副」の切換表示がされて、本機で聞いている音声も同時に切り換わりますが、本機には何の切換表示もされません。
  このとき、本機で同時に切換表示をさせるには「AAC」に設定してください。

アクオスのリモコン（例）

- アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
- アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する(つづき)

タイプ A のアクオスをお使いの場合
(32 ページ参照)

アクオスのリモコン(例)

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

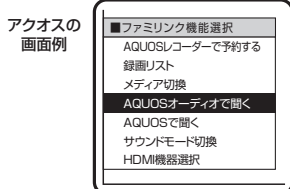
アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

アクオスのリモコン(またはデジタルハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコン)で、アクオスと連動して本機の電源を入れたり、音量や消音、音声切換の操作ができるようになります。

1 電源 を押す

2 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が表示されます。

3 で「AQUOSオーディオで聞く」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

- 再度、アクオスで音声を聞く場合は「AQUOSで聞く」を選んで、決定を押してください。

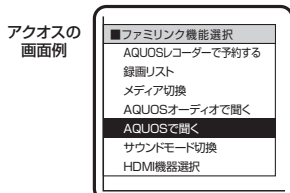
4 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が消えます。
- 画面が消えているときに押すと、画面が表示されますので、もう一度押して画面を消してください。

- ファミリンク動作時(「AQUOSオーディオで聞く」モードの時)は、アクオスと本機の両方から同時に音を出すことはできません。

アクオスから音声を聞くように戻すには…

上記の手順3で「AQUOSで聞く」を選び、決定 を押します。

アクオスの画面例

- 再度、本機で音声を聞く場合は「AQUOSオーディオで聞く」を選んで、決定を押してください。

お知らせ

- 本機は消音モード状態になります。
- 本機の音量調整などは使用できなくなります。
- 本機の電源を切っていても、レコーダーの操作をすると電源が入る場合があります。

タイプＢのアクオスをお使いの場合

(32 ページ参照)

アクオスのリモコン(例)

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

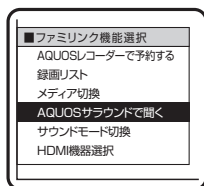
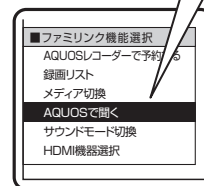
アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

アクオスのリモコン(またはデジタルハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコン)で、アクオスと連動して本機の電源を入れたり、音量や消音、音声切換の操作ができるようになります。

1 電源 を押す

2 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

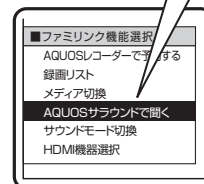
- ファミリンク機能選択画面が表示されます。

3 ▲▼ で「AQUOSサラウンドで聞く」を選び、決定 を押す

- 表示は「**AQUOSで聞く**」に切り換わります。
- 再度、アクオスで音声を聞く場合は「AQUOSで聞く」を選んで、決定を押してください。

4 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が消えます。
- 画面が消えているときに押すと、画面が表示されますので、もう一度押して画面を消してください。

- ファミリンク動作時(「AQUOSサラウンドで聞く」モードの時)は、アクオスと本機の両方から同時に音を出すことはできません。

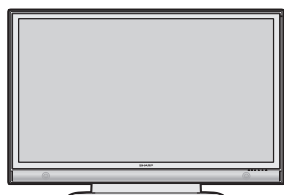
アクオスから音声を聞くように戻すには…

上記の手順3で「AQUOSで聞く」を選び、決定 を押します。

- 表示は「**AQUOSサラウンドで聞く**」に切り換わります。
- 再度、本機で音声を聞く場合は「AQUOSサラウンドで聞く」を選んで、決定を押してください。

お知らせ

- 本機は消音モード状態になります。
- 本機の音量調整などは使用できなくなります。
- 本機の電源を切っていても、レコーダーの操作をすると電源が入る場合があります。

ファミリンク機能を使って アクオスやレコーダーの音声を本機で聞く

アクオスのリモコンを使います

本機から音声がでるように、アクオスを設定してください。(**34** ～ **35** ページ参照)

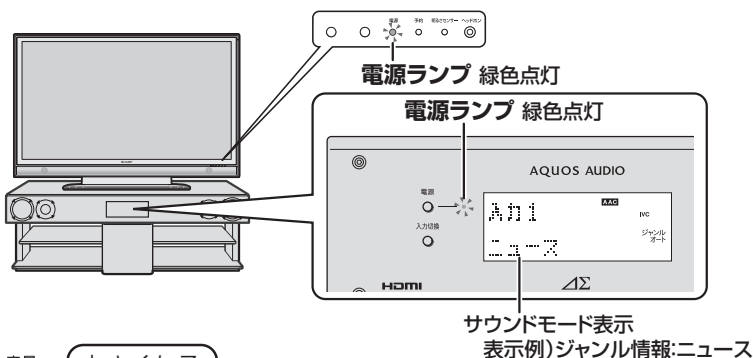
アクオスのリモコン(例)

- アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
- アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

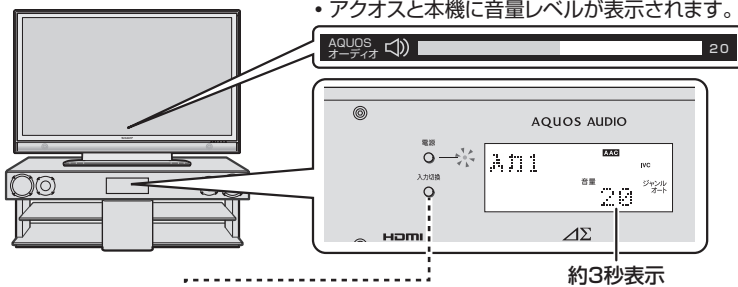
アクオスの音声を本機で聞く

1 電源 **を押す**

- アクオスに連動して本機の電源が自動で入ります。
- 本機の入力切換が自動で「入力1」になります。
- デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組内容に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。

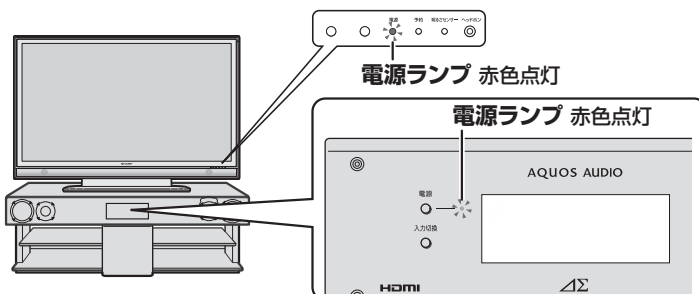
(「ジャンル連動設定」を「する」に設定している場合… **33** ページ参照)

2 音量 **を押して、音量を調整する**

大きくなる
小さくなる

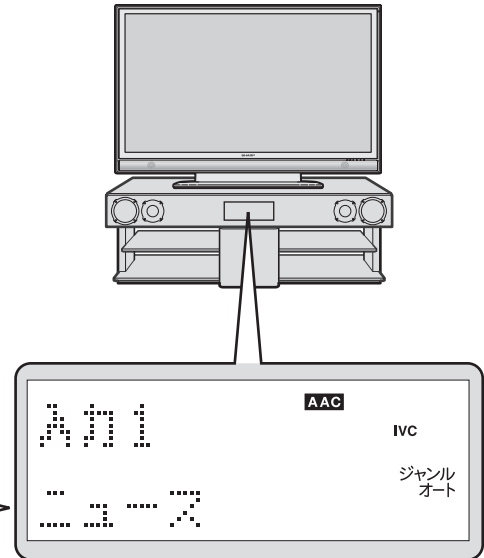
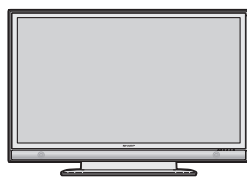
- アクオスと本機に音量レベルが表示されます。

- 入力2～4に接続した他の機器の音声を聞きたいときは、本機の「入力切換」ボタンで聞きたい機器の入力を選んでください(**23**ページ)。
  本機の電源「入/切」や音声調整、消音などはアクオスに連動し操作できます。
- 他の機器の音声を聞いていた状態で電源を切り、アクオスの電源を入れるとアクオスに連動し入力が切り換わります。
- HDMI1やHDMI2に接続したファミリンク対応レコーダーを再生すると、本機とアクオスの入力がレコーダー側に自動で切り換わります。(録画リストやスタートメニュー、番組表などの操作でも自動で切り換わります。)
- 本機にファミリンク対応レコーダーを2台接続している場合、後から再生したレコーダーに自動で切り換わります。
- 本機のHDMI1とHDMI2の両方に接続したファミリンク対応レコーダーをアクオスのリモコンを使って切り換えるには、アクオスのファミリンク機能選択メニューの「HDMI機器選択」を選んで、「決定」を押してください。
  「決定」を押すたびに、接続されている機器を順次切り換えていきます。

聞き終えたら

電源 **を押して、電源を切る**

- アクオスに連動して本機の電源も自動で切れます。

デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報

デジタル放送などのジャンル情報があるテレビ番組を本機で聞いているとき、番組内容に合ったサウンドモードに自動的に切り換わります。(設定方法については、**33**ページをご覧ください。)

ジャンル情報がある番組(デジタル放送など)		
ジャンル情報(電子番組表)	放送の信号	サウンドモード
情報/ワイドショー/ドラマ/バラエティ/ドキュメンタリー/趣味/教育/福祉	ステレオ/マルチチャンネル	スタンダード
映画	ステレオ/マルチチャンネル	シネマ
ニュース/報道	ステレオ/マルチチャンネル	ニュース
スポーツ	ステレオ/マルチチャンネル	スポーツ
音楽/劇場/公演	ステレオ/マルチチャンネル	ミュージック
アニメ/特撮	ステレオ	スタンダード
	マルチチャンネル	シネマ
ジャンル情報が認識できない場合		
地上アナログ放送やDVDソフトなど	ステレオの場合は、ワイド感拡張、マルチチャンネルの場合は、ドルビーバーチャルスピーカーに設定されています。お好みのサウンドモードでお聞きになりたいときは、手動で切り換えてください。	

サウンドモードを手動で切り換えるには…

アクオスのリモコン(例)

1 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

• ファミリンク機能選択画面が表示されます。

アクオスの画面例

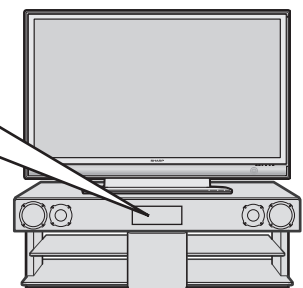
■ファミリンク機能選択
- AQUOSレコーダーで予約する
- 録画リスト
- メディア切換
- AQUOSオーディオで聞く
- AQUOSで聞く
- サウンドモード切換
- HDMI機器選択

2 ▲▼◀▶ で「サウンドモード切換」を選び、決定 を押す

• 決定 を押すたびに次の順に切り換わります。

スタンダード → シネマ → ニュース → ミュージック → ジャズ → クラシック → ロック → カヨウキョク → ライブ → スポーツ → ナイト → スタンダード

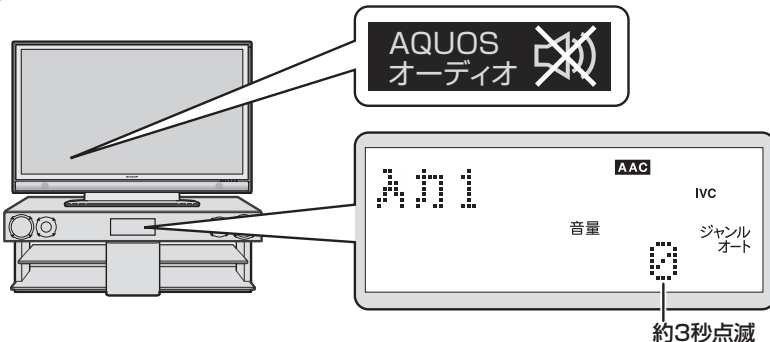
3 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

• ファミリンク機能選択画面が消えます。

ファミリンク機能を使って アクオスやレコーダーの音声を本機で聞く（つづき）

アクオスのリモコン（例）

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

一時的に音を消すには（消音モード）

消音 を押す

消音モードを解除するには

• もう一度 消音 を押す　　または 音量 を押す。

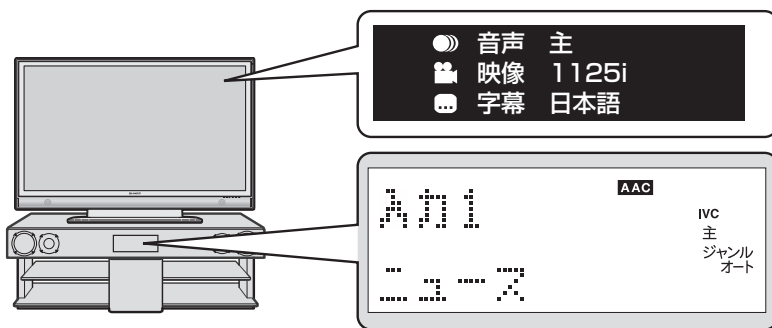
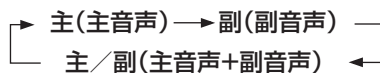
お知らせ

アクオスと本機の両方から音を出したい場合は・・・
・アクオスから音が出ている状態で、本機のリモコンを本機に向けて「消音」ボタンを押してください。
一時的に本機の消音モード状態が解除され、アクオスと本機の両方から音が出ます。

音声多重放送の音声を切り換えるには

リモコンフタ内の 音声切換 を押す

• 音声切換 を押すたびに次の順に切り換わります。

お知らせ

レコーダーの音声多重放送を聞くときは…
・レコーダーのリモコンをレコーダーに向けて「音声切換」の操作をしてください。
レコーダーのデジタル音声出力の設定が「AAC」のときは、切り換わらないことがあります。その場合は、「PCM」に設定してください。
・音声出力設定が「AAC」の場合は、本機のリモコンを本機に向けて「音声切換」の操作をしても同様に切り換えできます。

ファミリンク機能を使って レコーダーの映像や音声を楽しむときの設定

本機のリモコンを使います

レコーダーを再生したときに、アクオスで見る映像と本機から出る音声のズレを軽減したい場合は・・・

レコーダーを再生したときに、アクオスで見る再生映像と本機から聞こえる音声にズレがあると感じた場合には、音声の遅延(ディレイ)設定を「オン」モードに設定してください。
本機から出る音声の出力を遅らせて映像とのズレを軽減させることができます。

お買い上げ時の状態:遅延(ディレイ)設定「オフ」モード
設定するには:本機のリモコンを本機に向けて操作します

1 メニュー を押す

メニュー
HDMI オン

2 ◀▶で「ディレイ」を選ぶ

ディレイ オフ

3 オン▲ オフ▼で「オン」を選び、決定を押す

ディレイ オン

設定を元に戻すには…

「オフ」を選び、決定を押します。

省待機電力モードにするには・・・

お買い上げの状態は、本機の電源が「切」のときでも、HDMI CEC非対応機器(レコーダーなど)の映像や音声をアクオスで見たり聞いたりできる「HDMIオン」モードに設定されています。
設定を「HDMIオート」モードにすると、これらが機能しなくなりますが、効果的な省エネの省待機電力モード(**45**ページ)にすることができます。
なお、HDMI CEC対応機器(レコーダーなど)の場合は、「HDMIオン/オート」モードに関係なく、アクオスで映像や音声を見たり聞いたり、コントロールすることができます。

お買い上げ時の状態:「HDMI オン」モード
設定するには:本機のリモコンを本機に向けて操作します

1 メニュー を押す

メニュー
HDMI オン

2 ◀▶で「HDMI」を選ぶ

HDMI オン

3 オン▲ オート▼で「オート」を選び、決定を押す

HDMI オート

設定を元に戻すには…

「オン」を選び、決定を押します。

- HDMI CEC非対応機器をお使いの場合は、「HDMIオン」モードに設定してください。
  本機の電源が「切」のとき、「HDMIオート」モードの設定では、アクオスで映像や音声を見たり聞いたりすることができません。

「故障かな？」と思ったら

■ 次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
なお、「保証とアフターサービス」については**46**ページをご覧ください。

	こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
共通	付属の光デジタルケーブルが接続できない 付属のHDMIケーブルが接続できない	• 先端についている保護キャップを取り外していますか？ 接続する前に保護キャップを取り外してください。	18、19
	音が出ない	• 音量が「0」になっていませんか。 • 一時的に音を消す設定になっていませんか。 • 接続している機器が正しく選択されていますか。（入力切換をまちがえていませんか。） • 接続している機器の電源は入っていますか。 • 接続している機器が、正しく入力端子に接続されていますか。 • 接続している機器の端子と本機の端子が、奥までしっかりと差し込まれていますか。	23、36 24、38 23 — 18、19 18、19
	左右から逆の音が出る	• 音声入力（アナログ）のL（左）／R（右）が正しく接続されていますか。	18、19
	雑音が出る	• パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。	7
	ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	• 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、<リセット操作>をしてください。	22、44
	表示部がつかない	• 表示部が消灯モードになっていませんか。点灯させたいときは、点灯モードに切り換えてください。	25
	電源が入らない	• 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 • 保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。	21 44
	PCMやAACなどの表示がでない	• 光デジタル音声ケーブルで、入力1または入力2に接続していますか。 • HDMIケーブルでHDMI1またはHDMIに接続していますか。 • 信号は入っていますか。規格外の信号ではありませんか。	18、19 18、19 44
リモコン	リモコンが動作しない、または正しい動作をしない	• 乾電池の ⊕、⊖ の向きが逆になっていませんか。 • 乾電池が消耗していませんか。 • リモコンの送信部を本機のリモコン受信部に正しく向けていますか。 • リモコン受信部との距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 • 本機の前に障害物はありませんか。 • リモコン受信部に強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。 • リモコンの正しいボタンを押していますか。 • 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。	20 20 22 22 22 22 13 —
	リモコンで電源が入らない	• 電源コードはつながっていますか。 • 乾電池は入っていますか。	21 20
ファミリンク	ファミリンク機能が正しく動作しない	• HDMIケーブルは正しく接続されていますか。 ケーブルを正しく接続して、一度<リセット操作>をしてください。 • 接続している機器および本機の端子に奥までしっかり差し込まれていますか。 • 一旦、手動で入力を切り換えて、レコーダーの映像がでることを確認してください。	18、19 44 18、19 —
	アクオスのリモコンで本機を操作できない	• アクオスのリモコンをアクオスに向けて正しく操作していますか。 • アクオスの設定が「AQUOSオーディオで聞く」*モードになっていますか。 • HDMI CEC対応の機器を使用していますか。 • アクオスのリモコンの乾電池が消耗していませんか。	32～38 34～35 — —
	アクオスの音声が本機から聞こえない	• アクオスからの音声出力が、光デジタル音声ケーブルで本機の入力1に接続されていますか。 • アクオス側が「AQUOSオーディオで聞く」*モードに設定されていますか。	18 34～35

＊ 製品によっては、「AQUOSオーディオで聞く」ではなく、「AQUOSサラウンドで聞く」という名称を使用しているものもあります。（**32**ページ）

	こんなときに	ここをお確かめください	参照ページ
ファミリンク	音や画像が出ない	• HDMI対応の機器を使用していますか。 • HDMIケーブルは正しく接続されていますか。 ケーブルを正しく接続して、一度<リセット操作>をしてください。 • 接続している機器および本機の端子に奥までしっかり差し込まれていますか。	18、19 18、19 44 —
	電源が勝手に切れる	• HDMIケーブルは正しく接続されていますか。 ケーブルを正しく接続して、一度<リセット操作>をしてください。 • 接続している機器および本機の端子に奥までしっかり差し込まれていますか。	18、19 44 —
	自動でジャンル連動が切り換わらない	• アクオスのファミリンク機能選択で、「AQUOSオーディオで聞く」*モードに設定していますか。 • アクオスの「機能切換 — ファミリンク設定」の「ジャンル連動設定」が、「する」になっていますか。	34、35 33
	ジャンル情報に連動してサウンドモードが切り換わるときに、一瞬音声が途切れるが不良では?	• 不良ではありません。 アンプ内部の設定変更のために、一瞬音を消しています。	—
	レコーダーで放送を視聴時に本機のサウンドモードがジャンル連動しない	• アクオス側の入力切換をいったん他の入力に切り換えた後、もう一度レコーダーの入力に戻してください。	—
	DVD再生時に本機のサウンドモードがジャンル連動しない	• デジタル放送のジャンル情報により切り換わる機能のため、DVDの再生では切り換わりません。	—
	ヘッドホンをアクオスにつないでも音がでない	• アクオスのファミリンク機能選択で、「AQUOSで聞く」モードに設定してください。	34、35
	レコーダーの電源を入れても、アクオスや本機の電源が入らない	• レコーダーを再生モードにしてください。 レコーダーが再生状態になると、アクオスや本機の電源が入ります。	—
	レコーダーを再生したときに、アクオスの映像と本機からの音声にズレがある	• 本機の「音声遅延設定」を「オン」モードにすると、軽減することができます。	39

＊ 製品によっては、「AQUOSオーディオで聞く」ではなく、「AQUOSサラウンドで聞く」という名称を使用しているものもあります。(**32**ページ)

よくあるお問い合わせ

■「故障かな？」と思ったら（**40～41**ページ）も合わせてご覧ください。

	お問い合わせ	回　答	参照ページ
設置	背面を壁いっぱいに設置することはできますか？	・設置可能です。ただし、テレビやレコーダーなどと接続するケーブル類をあらかじめ本機に接続し、その他必要なケーブル類を配置しておく必要があります。	15
接続	CDプレーヤーやカセットデッキなどを接続することはできますか？	・接続可能です。「テレビやレコーダーなどを接続する」をご覧ください。	19
	アナログ入力はできますか？		
	外部スピーカーを接続することはできますか？	・外部スピーカーを接続することはできません。	—
	外部アンプを接続して本機のスピーカーから音を出すことはできますか？	・外部アンプを接続することはできません。	—
	ヘッドホンを接続することはできますか？	・ヘッドホンを接続することはできません。	—
	地デジ非対応テレビでも接続できますか？	・接続可能です。ただし、ファミリンクによる連動動作をすることはできません。	18
	ファミリンク非対応テレビでも接続できますか？		
	他社のテレビと接続できますか？ (他社のテレビは使用できますか？)		
	他社のレコーダーと接続できますか？ (他社のレコーダーは使用できますか？)	・接続可能です。ただし、ファミリンクによる連動動作をすることはできません。	19
	HDMI CEC対応の他のオーディオ機器を接続することはできますか？	・本機およびアクオスのどちらにも接続しないでください。ファミリンクによる正常な連動動作ができなくなります。	—
ファミリンク	ファミリンクを使う場合に、特別に設定することはありますか？	・アクオス側での設定が必要です。	33～35
	本機からアクオスの音を聞くにはどうすればいいですか？		
	アクオスの電源を入れてから本機の電源が入って音声が出るまでに十数秒かかるが不良では？	・不良ではありません。接続しているHDMI機器の認証などにある程度の時間がかかります。	—
	アクオスの電源を入れると本機の電源も入りますか？	・HDMI CEC対応のアクオスを接続し、アクオス側の設定を「AQUOSオーディオで聞く」*モードに設定していれば、アクオスに連動して入ります。	34、35
	アクオスの電源を切ると本機の電源も切れますか？	・HDMI CEC対応のアクオスを接続していれば、アクオスに連動して切れます。	—
	二ヶ国語放送の音声を切り換えるには？	・アクオスリモコンフタ内の「音声切換」ボタンで操作できます。	38
	手動でそれぞれのプリセットサウンドモードに設定したあと、ジャンルオートに戻すにはどうすればいいですか？	・ジャンルオートの設定を解除しないで、手動切換の操作をした場合は、デジタル放送のテレビ番組に切り換えると、テレビ番組のジャンル情報に連動して、本機のサウンドモードが自動で切り換わります。 ・ジャンルオートの設定を解除したときは、「する」の設定に戻してください。	— 33
	ファミリンク機能で本機とアクオス、本機とレコーダーを接続している場合、レコーダーの電源を入れると本機やアクオスの電源は入りますか？	・レコーダーの電源を入れただけでは本機やアクオスの電源は入りません。 レコーダーを再生すると、本機やアクオスの電源が入ります。	—

＊製品によっては、「AQUOSオーディオで聞く」ではなく、「AQUOSサラウンドで聞く」という名称を使用しているものもあります。（**32**ページ）

	お問い合わせ	回　　答	参照ページ
ファミリンク	ファミリンク機能でアクオスと連動させている場合、CDプレーヤーを接続したときに、本機だけ電源を入れて使用することはできますか？ （アクオスの電源を入れないで、CDプレーヤーやカセットデッキなどの音声を聞きたい場合はどうすればいいですか？）	• 本機の電源を入れてもアクオスの電源は入りませんので使用できます。 本機の「電源」ボタンで本機の電源を入れて、接続した機器（CDプレーヤーやカセットデッキなど）の入力に切り換えてください。	23
その他	アクオスと本機の両方から同時に音を出すことはできますか？	• 一時的には可能ですが、電源の「入」や音量調整などのファミリンクによる連動動作はしなくなります。	34、35、38
	アクオスから音声を聞くにはどうすればいいですか？	• アクオスの設定を「AQUOSで聞く」モードに戻してください。 電源の「入」や音量調整などのファミリンクによる連動動作はしなくなります。	34、35
	アクオスの音声をヘッドホンで聞くにはどうすればいいですか？		
	光デジタル音声ケーブルを接続して、パソコンに保存した音楽を聞くことはできますか？	• パソコン側に光デジタル音声出力端子があり、出力がPCM32kHz、44.1kHz、48kHzでしたら可能です。 詳しくは、お使いのパソコンの仕様を確認してください。	19
	サブウーハーの音量レベルは調整（変更）できますか？	• サブウーハーの音量レベルは－５～＋５の範囲で調整可能です。	25
	左右の音量レベルは調整（変更）できますか？	• 左右の音量レベルの調整はできません。	—
	本機は5.1chのシステムですか？	• 5.1chサラウンドシステムではありません。 2.1chシステムですが、ドルビーバーチャルスピーカー機能により5.1chを鳴らしたときと同じような響きのある立体的な仮想サラウンドを楽しむことができるシステムです。	9、30
	待機ランプを消灯させることはできますか？	• 消灯させることはできません。	—
	リセット方法は？	• <リセット操作>をご覧ください。	44
	購入したときの設定状態に戻すにはどうすればできますか？	• <お買い上げ時の設定状態に戻すには>をご覧ください。	44
	タイマー機能はありますか？	• タイマー機能はありません。	—
	キャスターはついていますか？	• キャスターはついています。（８個）	10
	サブウーハーはついていますか？	• サブウーハーは前面についています。	10
	収納部に、ガラス戸はついていますか？	• ガラス戸はついていません。	—
	棚板を外すことはできますか？	• 固定されていますので、外すことはできません。	—
	棚板の高さを調整することはできますか？	• 固定されていますので、調整することはできません。	—
	スピーカーは取り外して、レイアウトを変えることはできますか？	• スピーカーは内蔵式ですので、取り外すことはできません。	—
	テレビの転倒防止はできますか？	• 本機背面の天板部下側にテレビ転倒防止用部品（ネジ）取付部が左右２ヶ所にあります。 この取付部に付属のネジとワッシャーを取り付け、市販の丈夫なひもなどを使って、テレビ本体とつなぐことができます。	12、16

エラーメッセージについて

操作を誤ったときなどに、表示部に次のような表示がでます。

エラー表示	エラーの内容
FAN LOCK （3秒間表示）	• 背面アンプ部の空冷ファンが回っていない。 → 電源プラグを抜いて、空冷ファン周辺に異物がはさまっていないか確認してください。異物があれば、取り除いてください。（※）
DSP-E2 DSP-E7	• サラウンド回路の動作不良。 → 近くに雑音を発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみてください。（※）
DSP-E3	• サラウンド回路以外の動作不良。 → 近くに雑音を発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみてください。（※）
HDMI、入力1、入力2のときに音声入力信号表示（PCM、DOLBY DIGITAL、DTS、AAC）が全消灯	• 入力信号がないとき。 → 接続した機器を再生してください。 • 規格外の信号で認識することができない。 → DOLBY DIGITAL、DTS、AAC、Liner PCM以外の信号は、認識することができません。 • デジタル音声入力端子の接続不良。 → 電源を切って、ケーブルが正しく接続されているか確かめてください。
Er-AP＊＊ （3秒間表示） ＊＊：数字を表示	• 自己チェックにて異常と判断した。 → 近くに雑音を発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみてください。（※）
電源表示ランプ （赤色の点滅）	• 著しい大音量で聞いていませんか。 • 異常に暑い場所で使用していませんか。 → 大音量や異常に暑い場所で長時間使用すると、保護回路が働く場合があります。一度、電源プラグをコンセントから抜いて、5分以上経ってから再び電源プラグを差し込み、動作の確認をしてください。（※）

（※）電源プラグの差し込み直しや電源の入れ直し、リセット操作などをしても同じ表示がでるときは、**46**ページの「保証とアフターサービス」をご覧のうえ、修理を依頼してください。

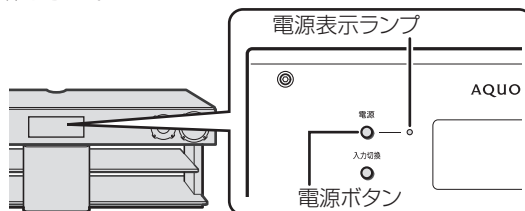
リセット操作について

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

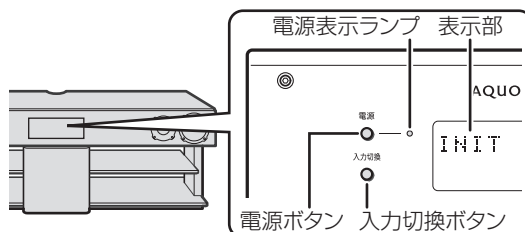
<リセット操作>

電源 **を押し続ける**（約8秒）

電源表示ランプが消灯するまで押し続けてください。
電源表示ランプが消灯したら、リセット操作は完了です。

<お買い上げ時の設定状態に戻すには>

1．電源 と 入力切換 を同時に押し続ける（約8秒）

2．電源ランプが消灯したら 電源 から指を離す

電源表示ランプ（緑色）が点灯し、表示部に“INIT”が約1秒表示されたあと電源が切れ、電源表示ランプが赤色に変わったら完了です。
“INIT”の表示が出たら「入力切換」ボタンから指を離せます。

おもな仕様

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

● 本体部(アンプ／フロントスピーカー／サブウーハー内蔵)

アンプ部		
実用最大出力		総合150W フロントスピーカー:25W+25W (JEITA※) サブウーハー:100W (JEITA※)
アンプ構成		フロントスピーカー用:1ビットΔΣ(デルタシグマ)変調方式 サブウーハー用:パルス幅変調方式
1ビットスイッチング周波数		11.2MHz
音声入力端子		デジタル外部入力: HDMI入力×2(映像入力兼用) 角形光入力×2 アナログ外部入力: 2V rms=0dB(47KΩ) ピンジャック (L/R)×2
音声出力端子		デジタル外部出力: HDMI出力×1(映像出力兼用)
電源		100V AC、50/60Hz
消費電力		75W (待機消費電力:4.35W／省待機電力モード時:0.76W)
フロントスピーカー部		
スピーカー形式		2ウェイ[防磁設計]
スピーカー		ウーハー:10cm×2(4Ω) ソフトドームツイーター:2.5cm×2 (4Ω)
サブウーハー部		
形式		バスレフ型
スピーカー		ウーハー:16cm×1(3Ω)
共通部		
最大外形寸法		1,350(幅)×451(高さ)×429(奥行)mm (JEITA※)
棚寸法(内寸)	上段	470(幅)×112(高さ)×360(奥行)mm
	下段	470(幅)×112(高さ)×375(奥行)mm
質量		約64kg
耐荷重		約80kg
棚板耐荷重	上段	約15kg
	下段	約20kg

● リモコン部

リモコン	
電源	DC 3V(付属単3乾電池×2個)

※ 実用最大出力、最大外形寸法は、JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

保証とアフターサービス よくお読みください

保証書(別添)

■ 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

■ **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

使い方や修理のご相談など

■ 修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、及び万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

【お客様相談センター】

携帯・PHS OK **0120 - 001 - 251**
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※詳細は、裏表紙をご確認ください。

補修用性能部品の保有期間

■ 当社は、この1ビットシアターラックシステムの補修用性能部品を、製品の製造打切後、8年保有しています。
■ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

■ 「故障かな?」と思ったら(**40~41**ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名 : **1ビットシアターラックシステム**
- 形　　　名 : **AN-ACX2**
- お買いあげ日(年月日)
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご　住　所(付近の目印も合わせてお知らせください。)
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電話(　　)　　—

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

長年ご使用の機器の点検を!

愛情点検

このような症状はありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

さくいん

●英数字

●あ行

●か行

●さ行

●た行

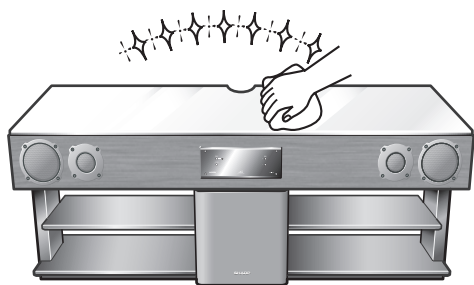
●な行

●は行

●ら行

お手入れのしかた

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。

エコロジークラスでいきましょう。シャープ。

1ビットシアターラックシステム AN-ACX2

上手に使って、もっともっとエコロジークラス。

ファミリンク機能付アクオスの電源を切ると連動して当機の電源も自動的に切ることができます。
電源の切り忘れもなく効率的な省エネになります。

省エネ 「HDMI オート」モードに設定

当機は電源を切っても少量の電力を消費しています。
「HDMI オート」モードに設定することにより、更に効果的な省エネになります。

使い方や修理のご相談など

【お客様相談センター】

0120 - 001 - 251
携帯・PHS OK
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

■IP電話などからフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話：043 - 331 - 1626	FAX：043 - 297 - 2696
〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

受付時間 ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00 （年末年始を除く）

●電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。 （2007.05）
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia

TINSJA194WJZZ
07P05-MA-NM